

教育原理	幼児教育学科		1年後期	
	2単位		講義	30時間

[教員]： 矢田貝 真一

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容 わが国の教育は、現在多くの課題を抱えてその解決が求められています。課題の解決や教育・保育の実践には、「教育とは何か」という問いに対する知識や理解にもとづく自分なりの確かな考えを持つことが重要です。このため授業では、教育の目的・内容・方法・制度・行政などの基礎的原理を確実に理解し、教育の思想や歴史の基礎的内容も把握して、「教育とは何か」を考え、教育課題についても考えられるようになることをめざします。

授業方法 講義を中心として、小グループでの討議や発表も取り入れながら進め、知識を身につけるだけでなく、教育や保育に対する自分なりのとらえ方や考え方の形成をめざして展開していきます。

到達目標
 1. [知識・理解] 保育者に必要な教育に関する目的・内容・方法・制度・行政・思想・歴史などの基礎的知識について理解することができる。(◎)
 2. [思考・判断・表現] 教育に関する知識を活用して教育課題とその解決について考えることができ、思考力や判断力、表現力にもとづいて「教育とは何か」という問いに自分なりに答えられる。(○)
 3. [技能] 教育に関する基本的な知識を、保育者に必要な指導や支援の技能と結びつけて考えることができる。(○)
 4. [関心・意欲・態度] 教育・保育に興味や関心を持ち、積極的に学修に取り組むことができる。(○)
 (◎・○・△は、幼児教育学科のDP・到達指標との結びつきの強さを示しています。)

観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
		試験	40	10	10	-
	レポート・発表	5	10	5	-	20
	学修成果の自己評価	-	-	5	5	10
	受講態度(学修や提出等の状況)	-	-	-	10	10
	合計	45	20	20	15	100

成績評価と割合 試験(中間まとめと定期テスト：記述テスト；2回) 60%、レポート・発表 20%、学修成果の自己評価 10%、受講態度(学修・発表・提出等の状況) 10% の合計 100% で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生は定期テストの受験資格がありません。

テキスト ありません。

参考書・教材 『幼稚園教育要領解説』文部科学省、平成20年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省、平成27年、『保育所保育指針解説書』厚生労働省、平成20年、幼稚園教育要領・認定こども園教育・保育要領・保育所保育指針改訂案、平成29年、『小学校学習指導要領』文部科学省、平成27年、菱田隆昭 編『幼児教育の原理 [第2版]』、みらい、2009、山口意友『教育の原理とは何か[改訂版]』日本の教育理念を問う』ナカニシヤ出版、2017、他に必要な資料は配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
第1週	ガイダンス、この授業で学ぶこと(教育原理とは何か、どんなことを学ぶのか、学び方と心構えなど) [準備・課題]免許・資格と結びつけて、この科目の教育内容を調べてまとめる(3~5h)
第2週	教育とは何か(学校教育・社会教育・家庭教育、教育と子供、子供と環境) [準備・課題]児童の権利条約の意義とその概要を調べてまとめる(2~4h)
第3週	教育の意義(教育とは、ヒトに教育がなぜ必要か、生涯学習とは) [準備・課題]教育基本法での「教育の目的」と学校教育法での「幼稚園教育の目的」を調べてまとめる(3~5h)
第4週	教育の目的(教育基本法の理念、わが国の学校教育の目的と構造、幼児教育の目的と目標) [準備・課題]これまでの経験を通して教育・保育者には何が求められていると考えるかをまとめる(3~5h)
第5週	教育者に求められるもの(教員養成の変遷、教育する者に必要な資質と能力) [準備・課題]諸外国の教育思想(コメニウス、ルソー、ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ、カントなど)について調べてまとめる(4~6h)
第6週	諸外国の教育史(教育観の変化、子供観の変化、教育思想にはどのようなものがあるか) [準備・課題]学んだ教育観を参考に自分が考える最もふさわしい教育者のあり方についてまとめる(3~5h)
第7週	わが国の教育史(子供のとらえ方、学校制度の変遷、教育の展開) [準備・課題]改訂される「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の中心となる趣旨を調べ、現行のものとの違いをまとめる・前半の学修内容を振り返ってまとめる(4~6h)
第8週	中間のまとめ(第1週~第7週の復習とテスト)とレポートの発表 [準備・課題]幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園のちがいで調べてまとめる(3~5h)
第9週	わが国の教育制度(わが国の教育法規・教育制度の変遷としくみ、幼稚園・保育所・こども園のちがいで) [準備・課題]教育制度に関連する課題をひとつ取り上げ、自分の意見をまとめる(2~4h)
第10週	諸外国の教育制度(制度やしくみのちがいで、考え方の相違点と共通点) [準備・課題]現在の教育要領・学習指導要領・保育指針などの改訂について、主旨の概要やスケジュールを調べてまとめる(3~5h)
第11週	教育や保育の基準(教育要領・学習指導要領、教育・保育要領、保育指針について) [準備・課題]教育課程の意味について調べてまとめる(3~5h)
第12週	教育課程と保育課程(教育課程とは、教育課程の基準、保育における教育課程と保育課程) [準備・課題]教育における評価のとらえ方と方法について調べてまとめる(3~5h)
第13週	教育・保育における評価(評価とは、保育と評価、第三者評価) [準備・課題]「教育とは何か」という問いへの自分の考えをまとめ、わが国の教育課題も調べてまとめる(4~6h)
第14週	わが国における教育課題(具体的な課題、教育改革、これからの幼児教育と保育) [準備・課題]教育に対する自分の考えと教育課題に関するレポートを発表できるように準備する(3~5h)
第15週	教育の課題についての発表と全体のまとめ(第1週~第14週のまとめ) [準備・課題]全体を配付資料に基づいて復習する(4~6h)

時間外での学習 [準備・課題]として示した内容を、()の標準学修時間をめどとして確実に取り組みましょう。質問等があれば、研究室(A305：A号館3F)へどうぞ。

受講学生への
メッセージ

授業では調べてレポートなどにまとめ、それを発表する活動もあるので、資料活用・表現などの力も身につけるよう努力しましょう。
オフィスアワーはA305で毎週木曜日の16:20から17:30です。

社会福祉		幼児教育学科		1年後期		
		2単位		講義	30時間	
[教員]：堀江 法夫						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	少子高齢化の社会にあって社会福祉は全ての人にとって大切なテーマです。限られたマンパワーや財源という社会資源の中で高齢者や子どもたちの命が守られていくにはどうしたらいいのか。社会福祉のこれまでと現在の課題を学んでいきます。					
授業方法	講義を中心として基礎的知識を学び、そのうえでできる限りみんなで考えを深めていきます。					
到達目標	1. [知識・理解] 社会福祉の歴史と実践について基本的な知識と理解を深めるようにする。(◎) 2. [思考・判断・表現] 社会が激変する中で生活のしづらさを思考、判断、表現できるようになる。(○) 3. [技能] 福祉の実践の場でアプローチしていく専門的な技能を深めるようにする。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 共通の福祉課題に積極的に関心を持ち取り組むことができるようになる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	30	10	20	-	60
	レポート自己評価	5	5	15	5	30
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	35	15	35	15	100
成績評価と割合	筆記試験60%、レポート自己評価（毎回）30%、受講態度10%の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した者には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領 必要な資料は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	社会福祉を学ぶにあたって：これまでの社会の変遷と現代の生活課題について考えよう。 [準備・課題]社会福祉は私たちの生活の中でどのような関係があるのかを考えておこう。(3h)					
2	社会福祉の考え方と役割：保育を含む社会福祉の視点と目的を考えよう。 [準備・課題]社会福祉の考えはどのようにして生まれてきたのかを考えておこう。(3h)					
3	社会福祉の歴史：欧米と日本の福祉についてこれまでのあゆみを理解しておこう。 [準備・課題]特に資本主義社会の発展との関係で考えておこう。(3～6h)					
4	社会保障とは何か：社会保険や生活保護について理解しておこう。 [準備・課題]社会保険の種類と生活保護の考えを調べておこう。(3h)					
5	社会福祉のしくみ：高齢者福祉と障害者福祉のしくみと法制度について理解しておこう。 [準備・課題]介護保険法と障害者総合福祉法について調べておこう。(3h)					
6	社会福祉の実施機関と行財政：福祉事務所と社会福祉法人について理解しておこう。 [準備・課題]児童相談所、福祉事務所、社会福祉協議会、社会福祉法人について調べておこう。(3h)					
7	社会福祉施設：社会福祉施設の種類や運営の基準について理解しておこう。 [準備・課題]社会福祉施設の種類や利用方法について調べておこう。(3h)					
8	子どもの福祉：子どもの人権と児童家庭福祉について考えよう。 [準備・課題]子供の福祉と向き合うにはどのような視点が必要か考えてみよう。(3h)					
9	社会福祉の専門職：社会福祉専門職の専門性と倫理について考えよう。 [準備・課題]社会福祉の専門職としての資格はなぜ必要か考えてみよう。(3h)					
10	相談援助の意味と方法：ソーシャルワークの視点と展開過程について考えよう。 [準備・課題]保育士を含むソーシャルワークの実際について考えてみよう。(3h)					
11	福祉サービスの利用支援：契約制度と適切な利用支援について理解しておこう。 [準備・課題]その人にマッチした支援とは何かを考えてみよう。(3h)					
12	権利擁護と苦情解決：権利擁護の意味と苦情解決のしくみについて理解しておこう。 [準備・課題]権利擁護と苦情解決はなぜ必要になってきたのかを考えてみよう。(3h)					
13	地域福祉の推進：地域福祉の理念と推進の方法について考えよう。 [準備・課題]地域福祉が必要になってきた過程について考えてみよう。(3h)					
14	他分野との連携とネットワーク：保健や教育等との連携とネットワークについて考えよう。 [準備・課題]子育て支援をどのようにして作っていくのかを考えてみよう。(3～6h)					
15	保育士のこれから：社会福祉専門職としての保育士のあり方を考えよう。 [準備・課題]自分の福祉専門職について、これまでの学びから考えをまとめてみよう。(3～6h)					
時間外での学習	社会福祉の専門職は保育士や介護福祉士等があります。共通点と相違点を考えてみよう。					
受講学生へのメッセージ	子育て環境は変化し、専門職として社会福祉の基礎的理解が大切です。一緒に考えていきましょう。オフィスアワーは毎週火曜日、12:10から12:30です。					

児童家庭福祉		幼児教育学科		1年前期		
		2単位		講義	30時間	
[教員]：松村 齋						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	今後、我が国は大規模な人口減少と超高齢社会となることが予想され、子ども達の生活も大きな転換期にきていけると言えます。授業では、福祉職としての保育士が身につけたい、子どもを愛し、子どもを尊重し、子どもの権利を護ることの大切さを、児童家庭福祉の理念と概念を基本から学び、福祉現場で自分らしく実践するための基礎的な力を養います。					
授業方法	講義形式 授業のテーマに沿った小課題を毎時行います。一部「グループディスカッション」「ビデオ視聴」なども取り入れる予定です。					
到達目標	1. [知識・理解] 児童家庭福祉の理念と概念を理解し、高度な知識と技能を身につけることができる。(◎) 2. [思考・判断・表現] 児童に関する具体的な事例を通じて、自分なりの保育者観を持って問題や課題に向き合うことができる。(○) 3. [技能] 児童一人ひとりの考え方や学び方などの多様性を理解し、支援方法を具体的に示すことができる。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 児童を取り巻く関係機関との連携のあり方を知り、様々なケースに対応できる柔軟さとコミュニケーション能力を身につけることができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	30	10	20	-	60
	発表・レポート	-	5	10	5	20
	自己評価	5	-	5	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	35	15	35	15	100
成績評価と割合	筆記試験 60%、発表・レポート 20%、自己評価 10%、受講態度 10% の 合計 100% で評価します。3分1以上欠席した学生には定期テスト受験資格がありません。					
テキスト	授業時にプリント配布します。					
参考書・教材	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領 成清美治 吉弘淳一『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』学文社 吉田眞理『児童家庭福祉』青踏社 他 その他、授業時に適宜紹介します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション 進め方、評価方法などの説明。授業の概要を知る [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
2	児童家庭福祉の理念と概念について 児童家庭福祉とは 児童の権利保障について学ぶ [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
3	児童・家庭の生活実態について 少子化問題の現状と課題 家庭における育児の現状と課題について学ぶ [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
4	児童家庭福祉と保育について 児童家庭福祉の一分野としての保育 児童の人権擁護について学ぶ [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
5	児童家庭福祉に関する法制度について 制度と法体系 行財政と実施機関 児童福祉施設等について学ぶ [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
6	児童家庭福祉制度の専門職の役割と実際(1) 保育士の役割 保育士とは 保育士の業務 保育士の課題について学ぶ [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
7	児童家庭福祉制度の専門職の役割と実際(2) 教師の役割について学ぶ(幼稚園教諭 小・中・高等学校の教諭 特別支援学校の教諭) [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
8	児童家庭福祉制度の専門職の役割と実際(3) 医師・保健師の役割について学ぶ(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 等) [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
9	児童家庭福祉制度における連携と実際(1) 医療関係者との連携 労働機関との連携について学ぶ [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
10	児童家庭福祉制度における連携と実際(2) 教育機関との連携について学ぶ(教員、特別支援教育コーディネーター 等) [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
11	児童相談所の役割と実際について 設立の意義・目的 組織体系 連携 活動の実際について学ぶ [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
12	児童家庭福祉の現状と課題(1) 事例検討：少子化と子育て支援サービスにおける事例より考察する [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
13	児童家庭福祉の現状と課題(2) 事例検討：保健所と保健センターにおける事例より考察する [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
14	児童家庭福祉の現状と課題(3) 事例検討：児童虐待防止と社会的養護の動向における事例より考察する [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
15	特別な支援が必要な児童への対応について 事例検討：発達障がいをもつ子どもたちにおける事例より考察する [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、必ず、関連する文献に触れること(1h)					
時間外での学習	児童家庭福祉、児童虐待、障がい児(者)施設、特別支援教育に関わる当事者の手記を最低一冊は読んでおいてください。そこから、自らの体験を通じて感じとることも大切な学習のひとつです。					
受講学生へのメッセージ	児童家庭福祉の問題は私たちの身近なところで起っています。未来の保育者として、常に日々の出来事や感じたことを相手の立場で考えられる習慣を身につけましょう。オフィスアワーは、H号館H207号室 木曜日16時10分からです。					

保育原理		幼児教育学科		1年前期		
		2単位		講義	30時間	
[教員]：名和 孝浩						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	国が「保育」や「保育所」をどのように定め、何を求めているのかを学び、保育者が自信をもって実践に取り組むため、子どもの権利を明らかにして保育の本質を学ぶ。諸外国とも比較しながら保育施設がどのようにして生まれ、どのようにして発展してきたのかを学習する。					
授業方法	グループワークやディスカッションを通して、自分の意見を深めつつ、他者の様々な視点から学びを深める。また学生自身が関心のある課題を探求することで、主体的な学びへとつなげる。					
到達目標	1. [知識・理解] 保育の意義とその内容についての基礎理論を理解する。(◎) 2. [思考・判断・表現] 幼児教育の歴史的背景や現代の課題に気づき、判断することができる。(◎) 3. [技能] 一人ひとりの子ども理解に応じた援助や環境構成ができる。(○) 4. [関心・意欲・態度] 保育者として社会に貢献する意識を育てることができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	20	20	10	-	50
	レポート	10	10	10	-	30
	毎回の授業での振り返り	-	-	-	20	20
	合計	30	30	20	20	100
成績評価と割合	筆記試験 50%、レポート 30%、毎回の授業での振り返り 20% の合計 100% で評価します。					
テキスト	『最新保育講座1 保育原理 [第3版]』ミネルヴァ書房(売店で購入してください) 『保育所保育指針解説書(厚生労働省版)平成20年』フレーベル館(売店で購入してください) 『教育要領と保育指針 幼稚園教育要領解説(文部科学省版)平成20年』フレーベル館(売店で購入してください) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府版)平成27年』フレーベル館(売店で購入してください)					
参考書・教材	授業内で適宜紹介。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション [準備・課題]なぜ保育原理を学ぶのかを考える。(3h)					
2	保育の理念と意義 [準備・課題]保育の社会的意義を調べ、保育の理念についてまとめる。(3h)					
3	保育の基盤としての子ども観と内容・方法 [準備・課題]子どもの権利を守る法令を理解し、子どもの命を預かる保育施設の役割について考える。(3h)					
4	保育所保育指針・幼稚園教育要領などの考え方 [準備・課題]保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園教育・保育要領の内容と関連性を調べる。(3h)					
5	福祉としての保育 [準備・課題]養護と教育の一体性について、具体的な事例から考える。(3h)					
6	保育者に求められる専門性 [準備・課題]子どもと共に生きるとはどういうことか考える。(3h)					
7	未来へとつながる保育の目標 [準備・課題]子どもの生きる力を育むための保育課程とねらい・内容について学ぶ。(3h)					
8	遊びを通じての保育の内容 [準備・課題]保育の内容の歴史的変遷について学び、現代における保育内容を理解する。(3h)					
9	子どもと共にある保育の方法 [準備・課題]保育の方法の歴史的変遷について学び、現代における保育の方法を理解する。(3h)					
10	保育を取り巻く環境 [準備・課題]環境と相互作用のなかで育つ子どもの姿について考える。(3h)					
11	保育におけるクラス運営 [準備・課題]園の目標を理解しながら保育をするためのクラス運営について考える。(3h)					
12	家庭・地域・専門家との協働・連携 [準備・課題]地域における専門家との協働・連携の実態を調べる。(3h)					
13	保育の思想と歴史的変遷 [準備・課題]日本や諸外国の保育思想家や歴史的変遷について調べ、比較・考察する。(3h)					
14	保育の現状と課題 [準備・課題]日本や諸外国の子ども観・保育観について調べ、これからの保育に求められるものは何か考察する。(3h)					
15	総括 [準備・課題]学びを振り返り、あらためて保育の原理・原則について考える。(3h)					
時間外での学習	レポート作成(内容は授業内で指示)にあたり、保育を取り巻く制度や政治、時事問題などの資料を収集する必要がある。					
受講学生へのメッセージ	子ども・保育をめぐる諸問題を扱うため、日頃から最新の情報をキャッチできるように意識をしておいてください。「子どもについて知りたい」「子どものよりよい環境をつくりたい」「保育の歴史について知りたい」など、自分なりの興味・関心を深めていきましょう。疑問や授業に対する意見などは、オフィスアワー(名和研究室、月曜日15:00~16:30)を活用してください。					

発達心理学	幼児教育学科		1年前期			
	2単位		講義	30時間		
[教員]：茂木 七香						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	生まれてから現在までの十数年間で、みなさんの心と身体は様々な面で発達してきました。ではこのあとはどうなるのでしょうか？「発達」というと赤ちゃんが大人になるまでの間がクローズアップされがちですが、そのあともずっと、人は死ぬまで発達します。この授業では人の人生について、生涯発達心理学という考え方で発達段階に沿って学んでいきます。各発達段階で個人に起こる変化やそこで獲得されるもの、他者や社会とのかかわりなどを、心理学的に解説します。みなさんも発達し続ける当事者なので、共感を持って学べる内容だと思います。					
授業方法	基本的には講義形式ですが、実習課題に取り組んでもらったり、自分自身について振り返って記述してもらったりする機会もあります。					
到達目標	1. [知識・理解] 社会の中で人とかかわる上で不可欠である、人の心の働きと発達に関する基礎的な知識を理解し身につける。(◎) 2. [思考・判断・表現] 身近な事象を捉える際に、表に現れている部分だけを見るのではなく、発達心理学の知識や手法を用いて多角的な視点から考え理解することができる。(○) 3. [技能] 授業で得た知識や手法を、実生活での他者とのコミュニケーションで活用することができる。(○) 4. [関心・意欲・態度] 自分の心で感じたことを授業で得た知識と照らし合わせて捉えなおし、自己や他者の理解をよりいっそう深めようとする。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	35	2	2	2	41
	レポート	-	8	8	8	24
	小テスト	5	-	-	-	5
	受講態度	-	10	10	10	30
	合計	40	20	20	20	100
成績評価と割合	筆記試験41%(中間テスト20%、定期テスト21%)、レポート24%、小テスト5%(毎回の授業でのリアクションペーパーで実施)、受講態度30%(毎回の授業でのリアクションペーパー記入)の合計100%で評価します。欠席は減点とし、全体の3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	教科書は指定しません。授業中に資料を配布します。					
参考書・教材	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領。他は授業中適宜紹介します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	イントロダクション：発達心理学とはなにか？ 人はいつまで発達するのか？ [準備・課題]これまでの十数年間で、自分自身がどのような面で発達してきたか振り返ってみる。(2～3h)					
2	胎児期：母体から受ける影響 外界を認知する能力 [準備・課題]女性という立場から、胎児にとって最適な環境を整えるためにはどのようなことに配慮すればよいか考えてみる。(2～3h)					
3	新生児期：臨界期、微笑行動、模倣行動、学習能力 [準備・課題]新生児期にふさわしい環境とはどのようなものか、具体的に挙げる。(2～3h)					
4	乳児期①：赤ちゃんの心理を調べる方法 視空間認知能力 奥行知覚 [準備・課題]自分が乳児のころのエピソードをいくつか挙げ、心理学的に解説する。(2～3h)					
5	乳児期②：表情の認知 愛着の形成 言語の獲得 [準備・課題]乳児と接したときの経験を思い出し、今日の授業で習った内容を照らし合わせて振り返る。(2～3h)					
6	幼児期①：自己の形成 他者の理解 [準備・課題]自分自身が幼児期の頃、「自分」についてどのように感じていたか振り返ってみる。(2～3h)					
7	幼児期②：心の理論 社会性の発達 [準備・課題]「心の理論」による子ども理解を、事例を用いて説明する。(2～3h)					
8	中間テスト(範囲：第1回～第7回) / 児童期①：仲間関係の形成 道徳性の発達 [準備・課題]自分自身の児童期の仲間関係を思い出し、授業で習った内容に当てはめて捉えなおす。(2～3h)					
9	児童期②：自尊心と劣等感 論理的思考 [準備・課題]児童期の自分自身の自尊心と劣等感がどのように形成されていたかを思い起こす。(2～3h)					
10	青年期①：友人関係 自我同一性 [準備・課題]自分自身のアイデンティティステイタスは今どのようなタイプなのかを考えてみる。(2～3h)					
11	青年期②：性的成熟の受容 性役割 [準備・課題]生物学的な性別を受容する・しない生き方について、その多様性を調べてまとめる。(2～3h)					
12	成人期①：職業への意識 親になること [準備・課題]自分にとって職業とはなにか、考えをまとめる。(2～3h)					
13	成人期②：中年期の危機 人生の正午 [準備・課題]中年期にはどのような危機に直面するか、自分自身の考えも含めてまとめる。(2～3h)					
14	老年期①：加齢変化 役割の変化 [準備・課題]加齢による変化にはどのようなものがあるか、いろいろな側面から挙げてみる。(2～3h)					
15	老年期②：老年期の生きがい 死の受容 / まとめ：レポート課題提示 [準備・課題]老年者の生きがいにはどのようなものがあるか、身近な例やドラマ・映画の登場人物から考察する。(2～3h)					
時間外での学習	あなたは今、この瞬間にも、発達直線を生から死に向かって進んでいます。あなたと関わっている他の人もそうです。自分の身の回りの環境や人々、ニュースなどを「発達」という観点から捉え直し、観察してみてください。今だけではなく、過去や未来が見えてくると思います。					
受講学生へのメッセージ	発達心理学は今まさにあなたが生きている人生の過程に関する学問です。当事者として楽しむ姿勢と、学問として学ぶ姿勢の両方を持って受講することが、よりいっそう深い理解につながります。オフィスアワーは毎週火曜日の10:30-12:30です。気軽になんでも話しに来てください。					

子どもの保健 I		幼児教育学科		1年前期		
		2単位		講義	30時間	
[教員]：清水 美恵						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	子どもを取り巻く現状や政策、保健対策および、子どもの成長・発達の特徴を理解し、子ども一人ひとりの心身の状態や発達課題をふまえた、保育を行うための基礎的な知識の習得をねらいとする。					
授業方法	講義を中心に授業を行います。					
到達目標	1. [知識・理解] 子どもの成長・発達段階を理解し、各期に対応した子どもの成長を全人的に捉え、保育にかかわる人として幅広い視野をもつ。(◎) 2. [思考・判断・表現] 子どもの心身の健康増進をはかる保健活動の意義を理解し、子どもを取り巻く生活環境とのかかわりの基礎を養う。(◎) 3. [関心・意欲・態度] 子どもの成長・発達に応じた支援について理解し、子どもの健康を守る保育者として対応できる基礎知識を培う。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	30	-	-	-	30
	レポート	20	30	-	10	60
	出席および受講姿勢	-	-	-	10	10
	合計	50	30	-	20	100
成績評価と割合	試験 30%、レポート 60%、受講姿勢 10% の合計 100% で評価します。 欠席と提出物の期限遅延は減点対象とします。					
テキスト	『新時代の保育双書 子どもの保健 I』服部右子・大森正英 編みらい出版(売店で購入してください)					
参考書・教材	授業で提示					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、評価方法などの説明。授業の概要を知る 子どもの保健の意義、目的 [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
2	母子保健の概要 母子保健対策の現状と動向 [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
3	子どもの定義、子どもの特徴 [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
4	生命の誕生 妊娠・分娩について [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
5	身体の発育について [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
6	生理機能の発達について [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
7	運動機能の発達について [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
8	子どもを取り巻く生活環境について(1) 家庭環境 [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
9	子どもを取り巻く生活環境について(2) 地域環境 [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
10	子どもを取り巻く生活環境について(3) 自然環境 [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
11	子どもの生活習慣と健康について [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
12	子どもの栄養について(1) 乳児期 [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
13	子どもの栄養について(2) 幼児期 [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
14	子どもの精神保健について [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
15	まとめ、試験 [準備・課題] 学習内容を予習復習する(2h)					
時間外での学習	該当内容を理解して授業に参加してください。					
受講学生へのメッセージ	子どもの成長・発達を保障するための社会全体としての保健活動に興味・関心をもち、積極的に学修に取り組んでください。 オフィスアワーは、I号館325号室 木曜日16:30~17:30 です。					

子どもの保健Ⅱ		幼児教育学科		1年後期		
		2単位		講義	30時間	
[教員]：清水 美恵						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	子どもの成長・発達段階の理解を基に、子どもに多い病気に関連した変化や反応を理解し、個々の健康レベルに応じた対処法を学ぶ。また、保育現場における安全を守るための反応や事故予防のための適切な対処法についての知識を習得する。					
授業方法	講義を中心に授業を行います。					
到達目標	1. [知識・理解] 子どもに多い病気に関連した症状・反応の特徴と健康維持のための予防法および対処法を理解することができる。(◎) 2. [思考・判断・表現] 子どもの反応や変化を観察・判断でき、必要時は適切に保護者や関連機関へ連絡対応ができるための保育者の役割と機能を理解することができる。(○) 3. [関心・意欲・態度] 子どもの健康維持に対して常に関心をもち、保護者や関連職種への連携の必要性を認識することができる。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	40	-	-	-	40
	レポート	10	20	-	20	50
	出席および受講姿勢	-	-	-	10	10
	合計	50	20	-	30	100
成績評価と割合	試験 40%、レポート 50%、受講姿勢(授業後の感想用紙) 10% の合計 100% で評価します。欠席と提出物の期限遅延は減点対象とします。					
テキスト	『新時代の保育双書 子どもの保健Ⅰ』服部右子・大森正英 編みらい出版(売店で購入してください) テキストは、前期の「子どもの保健Ⅰ」で使用したものと同じです。持っていれば購入は不要です。					
参考書・教材	授業で提示					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、概要について説明 子どもの特徴、保健の意義について [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
2	子どもによくみられる症状とその対処法 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
3	子どもの先天性の病気、新生児の病気とその予防 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
4	子どもの精神の健康とその課題 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
5	子どもの感染と予防および対応(1) (感染症の概要、法律) [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
6	子どもの感染と予防および対応(2) (ウイルス性、細菌性、その他の感染症) [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
7	子どもに多い呼吸器疾患と予防および対応 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
8	子どもに多い循環器疾患、血液疾患と予防および対応 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
9	子どもに多い消化器疾患と予防および対応 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
10	子どもに多い泌尿器、内分泌、代謝疾患と予防および対応 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
11	子どもに多い精神、神経系疾患と予防および対応 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
12	子どもに多い皮膚、運動器、目、耳、鼻、その他疾患と予防および対応 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
13	子どもに多い事故と予防および対応 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
14	子どもの健康・安全を守る保育者のあり方について [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
15	まとめ 試験 [準備・課題]学習内容を予習復習する(2h)					
時間外での学習	授業の内容は必ず予習復習し、理解を深めてください。					
受講学生へのメッセージ	子どもの健康や安全を守る保育者は、子どもに多い疾患や感染症を理解し、予防や対処ができる判断が重要です。関心をもって授業に参加してください。オフィスアワーは、木曜日16:30~17:30です。					

保育内容の指導法（人間関係）		幼児教育学科		1年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：松村 齋・内藤 敦子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	子どもは生まれてから様々な人に出会い、繋がっていきます。その過程で共感や葛藤など、いろいろな思いを体験し、自己と他者に気づいていくのです。この周りの人との繋がりや体験による乳幼児の発達への影響を事例を通して学び、そして保育現場に即した「子ども理解と援助の方法」を身につけます。					
授業方法	講義を中心に、小グループでの討議などの演習形式も取り入れて、子ども理解を深めます。					
到達目標	1. [知識・理解] 子どもの発達段階に応じて、人とのかかわりに必要な知識を身につけることができる。(◎) 2. [思考・判断・表現] 子どもの言動を通して、それらを分析・判断し、実践に活かそうとすることができる。(△) 3. [技能] 保育実践に必要なコミュニケーション能力を身につけ、職員や保護者などと柔軟に関わることができる。(△) 4. [関心・意欲・態度] 時代の流れ、子どもを取り巻く環境の変化などに関心をもち、子どもの望ましい成長に新たな方法や手だてを行おうとすることができる。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	30	-	-	-	30
	授業ごとの振り返り	15	-	10	15	40
	発表・レポート	5	10	-	-	15
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計	50	10	10	30	100
成績評価と割合	筆記試験 30%、授業ごとの振り返り 40%、発表・レポート 15%、受講態度15% の合計100%。 3分の1以上欠席した学生は、単位不認定です。					
テキスト	森上史朗、吉村真理子、後藤節美 編『保育内容「人間関係」』ミネルヴァ書房(売店で購入してください)					
参考書・教材	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 保育の基本と人とのかかわり 自己の振り返りを通して、自己を見つめ直し、人とのかかわりを学ぶ					
2	保育の基本と人とのかかわり リフレーミング〈グループ討議〉 [準備]テキストの第1章を読んでおく(2h)					
3	人とのかかわりの発達 [準備]テキストの第2章を読んでおく(2h)					
4	子どもの生活と人とのかかわり 1 0歳児の人とのかかわりと保育実践 [準備]テキストの第2章を読んでおく(2h)					
5	子どもの生活と人とのかかわり 2 0歳児の人とのかかわりと保育実践 [準備]テキストの第2章を読んでおく(2h)					
6	子どもの生活と人とのかかわり 3 1、2歳児の人とのかかわりと保育実践 [準備]テキストの第2章を読んでおく(2h)					
7	子どもの生活と人とのかかわり 4 1、2歳児の人とのかかわりと保育実践 [準備]テキストの第3章を読んでおく(2h)					
8	子どもの生活と人とのかかわり 5 3歳以降の人とのかかわりと保育実践 [準備]テキストの第3・4章を読んでおく(2h)					
9	子どもの生活と人とのかかわり 6 3歳以降の人とのかかわりと保育実践 [準備]テキストの第4章を読んでおく(2h)					
10	人とのかかわりの育ちを見る視点 1 信頼関係、自己発揮 [準備]テキストの第5章を読んでおく(2h)					
11	人とのかかわりの育ちを見る視点 2 依存と自立 [準備]テキストの第5・6章を読んでおく(2h)					
12	人とのかかわりの育ちを見る視点 3 コミュニケーションの実際 [準備]テキストの第6章を読んでおく(2h)					
13	人とのかかわりの育ちを見る視点 4 「あいさつ」の本義 [準備]テキストの第6章を読んでおく(2h)					
14	人とのかかわりを育てる保育者の役割 1 発達や育ちの捉え方、「甘え」の意義 [準備]テキストの第7章を読んでおく(2h)					
15	人とのかかわりを育てる保育者の役割 2 まとめ [準備]テキストの第7・8章を読んでおく(2h)					
時間外での学習	学んだ内容について各自で事例を収集し、より子ども理解を深めることに繋いでいくことが必要になります。					
受講学生へのメッセージ	「人間関係」に関わる活動は広範囲にわたります。よって新聞、テレビ等の子どもに関する内容に目を向け、社会事象により、多くの関心を持って授業に臨みましょう。 オフィスアワーは、教室で講義後に行います。					

保育内容の指導法（言葉）		幼児教育学科		1年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：今村 民子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	子どもにとってことばとは何かを考えながら、幼児教育における「言葉」の位置づけを理解するとともに、内容について学んでいきます。ことばにならない表現を受け止めることから始めて、ことばで表現できるようになり、思いを伝えたり、気持ちをつたえたり、友達と交流したりすることや、書きことばの世界についても考えていきたいと思います。					
授業方法	講義と演習					
到達目標	1. [知識・理解] 専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を高める。(◎) 2. [思考・判断・表現] 専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。(△) 3. [技能] 専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常生活に生かす。(◎) 4. [関心・意欲・態度] さまざまな課題に対して積極的に取り組む。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	期末試験	40	-	-	-	40
	演習への姿勢	-	10	-	-	10
	レポート	-	-	30	-	30
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	40	10	30	20	100
成績評価と割合	期末筆記試験 40%、演習の姿勢 10%、レポート(3回) 30%、受講態度 20% の合計 100% で評価します。3分の1以上欠席の場合単位を認めません。					
テキスト	無藤 隆 監修『事例で学ぶ保育内容 領域言葉』萌文書林(売店で購入してください)					
参考書・教材	『幼稚園教育要領』フレーベル館 『保育所保育指針』フレーベル館 『幼児連携型認定こども園教育保育要領』フレーベル館 その他授業で紹介します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	授業内容のオリエンテーション [準備・課題] 今日の内容を振り返って、テキストを読む(1h)					
2	幼児教育の基本について [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
3	乳幼児期の発達と領域「言葉」：豊かなことばが生まれる道筋について学ぶ [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
4	信頼関係から生み出されることば1：ことばにならない表現を受け止める [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
5	信頼関係から生み出されることば2：生活体験を共有する イメージ、感覚を共有する [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
6	信頼関係から生み出されることば3：第3章のまとめを参考にして、事例からレポートを作成し、グループ交流をして理解を深める。 [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
7	自分の思いを伝えることば：相手に伝わることばを用いる みんなの考えをまとめる [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
8	感情体験とことば1：感情体験と快・不快の感情 [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
9	感情体験とことば2：自分の思いや気持ちを主張し、気持ちを整える [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
10	感情体験とことば3：なかまの意見を調整しながら話し合う [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
11	「いま、ここ」を超えて広がる世界とことば1：書きことば(文字)が広げる世界 文字に出会う [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
12	「いま、ここ」を超えて広がる世界とことば2：文字を自分のものにする 文字を使う [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
13	ごっこ遊びとことば1：イメージをふくらませる ことばを使って考える [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
14	ごっこ遊びとことば2：役割とことば ことばによる状況設定とその共有 [準備・課題] 今日の内容を復習して次回のテキストを読む(1h)					
15	まとめ ことば遊びを使って「なまええほん」を作ろう。 [準備・課題] ことば遊びについて調べてくる(1h)					
時間外での学習	予習としてテキストを読んで来てください。事例を中心にして学んだことを復習するように。					
受講学生へのメッセージ	ことば遊びなど実践で役立つものも随時取り入れていきます。ことばの世界を楽しめる授業にしたいと思っています。 オフィスアワー：H204研究室毎週金曜16:20～17:00					

保育内容の指導法（身体表現）		幼児教育学科		1年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：中野 由香里						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	子どもたちにとって、身体を使つての自由な表現やリズムカルな運動は成長過程において最も重要な経験のひとつです。生活の中で感じたことを表現する模倣遊びや、イメージすることによって生まれる表現方法を身につけます。また、保育者に適した身体表現の向上と指導方法を学びます。					
授業方法	テーマによって個人での表現活動、グループでの表現活動を行いながら、授業展開をしていきます。第6回目の授業から「こども祭」の発表に向けた取り組みを実施します。1月20日・21日は発表評価の対象（実技試験）となります。					
到達目標	1. [知識・理解] 幼児教育における「表現」領域の意味と内容を理解する。(◎) 2. [思考・判断・表現] 理想の保育者像を常に描き、即興・模倣・創造的な身体表現活動をすることができる。(○) 3. [技能] 感じたことや考えたことを自分なりに表現し、発表をすることができる。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 豊かな感性をもち、積極的に課題に取り組むことができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	受講態度	15	-	-	15	30
	発表	-	20	20	-	40
	自己評価	-	-	15	-	15
	レポート	15	-	-	-	15
	合計	30	20	35	15	100
成績評価と割合	受講態度 30%、発表(2回) 40%、レポート(毎回) 15%、自己評価(毎回) 15% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、幼児体育、子どもあそび動きの表現、資料は必要に応じて配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	模倣遊びI まねっこ リズムに合わせて [準備・課題] リズムの種類、模倣の種類をノートにまとめる。(1h~2h)					
2	模倣遊びII 身近なもの [準備・課題] 普段の生活の中で、表現に繋がることをノートにまとめる。(1h~2h)					
3	身体表現I 動物・乗り物、日常生活 [準備・課題] 動きの種類をノートにまとめる。(1h~2h)					
4	園の1日 発表準備 [準備・課題] 発表に向けて準備をする。(1h~2h)					
5	園の1日 発表 [準備・課題] 発表を振り返り、ノートにまとめる。(1h~2h)					
6	道具を使って表現I (グループ分け・テーマ決め) [準備・課題] 発表に向けた計画を立てる。(1h~2h)					
7	道具を使って表現II - ① (動きの練習) [準備・課題] 計画の確認 (1h~2h)					
8	道具を使って表現II - ② (動きの練習) [準備・課題] 動きの確認 (1h~2h)					
9	道具を使って表現III - ① (構成づくり) [準備・課題] 構成の確認 (1h~2h)					
10	道具を使って表現III - ② (構成づくり) [準備・課題] 構成の見直しを行う。(1h~2h)					
11	構成確認・発表準備I (発表準備) [準備・課題] 発表準備のための制作作業を行う。(1h~2h)					
12	構成確認・発表準備II (発表準備) [準備・課題] 発表準備のための制作作業の仕上げをする。(1h~2h)					
13	道具を使って表現IV (構成仕上げ・) [準備・課題] 発表の仕上げをする。(1h~2h)					
14	道具を使って表現V (リハーサル・発表) ※1月20日・21日に実施します。 [準備・課題] 発表を振り返り、ノートにまとめる。(1h~2h)					
15	発表の振り返り・まとめ (自己評価) [準備・課題] これまでに学んだ内容をノートにまとめる。(1h~2h)					
時間外での学習	普段の生活の中で、身体表現に関する情報を収集してください。また、子どもの特徴的な身体活動をノート等に書き留めておいてください。発表に向けての準備や練習を十分に行ってください。					
受講学生へのメッセージ	自分自身が楽しく、精一杯に表現し活動できるように自分らしさを素直に表現してください。オフィスアワーは研究室 (H203 : H号館) で毎週金曜日の12 : 15~12 : 45です。					

乳児保育 I		幼児教育学科		1年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：今村 民子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	人の一生の中で著しい成長発達を遂げる3歳未満児の体と心の発達について、月齢ごとの特徴を理解して保育者としてどのように接すればよいかを理解します。3歳未満児の保育内容と方法について理解し、保育に必要な知識や技術を身につけられるようにします。近年注目されている家庭にいる3歳未満児に求められている保育（子育て支援）についても学んでいきます。					
授業方法	講義と演習					
到達目標	1. [知識・理解] 子どもの年齢による発達特性や成長のようす、育児に留意することについて理解する。(◎) 2. [思考・判断・表現] 保護者と共に子育てしていく姿勢を持って、子どもの行為の意味に気づき、それらを分析・判断し実践に活かそうとすることができる。(◎) 3. [技術] 子どもの成長発達に応じた生活の課題や遊びについて、保育技術を活用した指導、支援ができる。(○) 4. [関心・意欲・態度] 保育者として必要な専門的知識を活かしたコミュニケーション能力を身につける。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	期末筆記試験	30	-	-	-	30
	レポート	-	30	-	-	30
	演習の姿勢	-	-	20	-	20
	受講の態度	-	-	-	20	20
	合計	30	30	20	20	100
成績評価と割合	期末筆記試験 30%、レポート 30%、演習への姿勢 20%、受講の態度 20% の合計100%で評価します。3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	早川悦子 他『やさしい乳児保育』青鞥社(売店で購入してください)					
参考書・教材	河原佐公・古橋紗人子『シードブック乳児保育科学的観察力と優しい心』建帛社 田中真介『発達がわかれば 子供が見える』ぎょうせい 『保育所保育指針』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育保育要領』フレーベル館					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション：進め方、評価方法などの説明。授業の概要を知る [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(1h)					
2	乳幼児保育について1：乳児保育の概念、乳児保育の意義について学ぶ [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(1h)					
3	乳幼児保育について2：乳児保育がどのように普及したか、少子化の現状や対策・制度について知る [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
4	家庭における養育の現状：子どもの発達を規定する要因やその特徴、母親のメンタルヘルスについて理解を深める [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
5	子育てをする親の状況：家庭で子育てをする親の実情や育児参加する父について考える [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
6	乳児と保育園の一日：乳児が保育園で1日過ごす内容について [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
7	おおむね6か月未満の保育：0～3か月の発達のようすと関わり方について [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
8	6か月未満の保育：4～6か月の発達のようすと関わり方について [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
9	6か月から1歳3か月未満の保育：発達のようすと特徴 [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
10	6か月から1歳3か月未満の保育：関わり方の配慮、生活や遊びの援助 [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
11	1歳3か月から2歳未満の保育1：発育・発達の特徴について [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
12	1歳3か月から2歳未満の保育2：生活や遊びの援助について [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
13	2歳児の保育1：発育・発達の特徴について [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
14	2歳児の保育2：生活や遊びの援助について [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
15	乳児の生活保育所における養護とは：乳児保育における養護の重要性について考える [準備・課題]今日の資料の整理と内容の復習(0.5h)					
時間外での学習	保育者になる者という立場に立って、自分自身の成長の様子を振り返ってみたり、自分を育てていただいた方々に、おなかにいた時のことや生まれた時のこと、小さい頃どのように育てられたかなどを聞いてきてみましょう。「母子手帳」は必ず使いますので自分の手元に用意をしましょう。そうした機会を利用しておうちの人に養育の様子を聞かせてもらいましょう。					
受講学生へのメッセージ	講義では知識を身につけ、演習では乳児にどのように接すればいいのか体験を通して学んでいきます。発達を知って保育を見通す力がつくようにしましょう。 オフィスアワー：H204研究室毎週金曜16:20～17:00					

乳児保育Ⅱ		幼児教育学科		1年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：今村 民子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	人の一生の中で著しい成長発達を遂げる3歳未満児の体と心の発達について、月齢ごとの特徴を理解して保育者としてどのように接すればよいかを理解します。3歳未満児の保育内容と方法について理解し、保育に必要な知識や技術を身につけられるようにします。前期に学んだことを基礎にしてさらに実践に役立つ演習をおこないます。また子育て支援についても地域の現状とともに学んでいきます。					
授業方法	講義と演習					
到達目標	1. [知識・理解] 子どもの年齢による発達特性や成長のようす、育児に留意することについて理解する。(◎) 2. [思考・判断・表現] 保護者と共に子育てしていく姿勢を持って、適切な保育相談支援ができる。(◎) 3. [技能] 子どもの成長発達に応じた生活の課題や遊びについて、保育技術を活用した指導、支援ができる。(○) 4. [関心・意欲・態度] 保育者として必要な専門的知識を活かしたコミュニケーション能力を身につける。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	期末筆記試験	30	-	-	-	30
	レポート	-	30	-	-	30
	演習への姿勢	-	-	20	-	20
	受講の態度	-	-	-	20	20
	合計	30	30	20	20	100
成績評価と割合	期末筆記試験 30%、レポート 30%、演習への姿勢 20%、受講の態度 20% の合計100%で評価します。3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	伊藤輝子 他『やさしい乳児保育』青鞥社(売店で購入してください)					
参考書・教材	『保育所保育指針』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育保育要領』フレーベル館 河原佐公・古橋紗人子『シードブック 乳児保育 科学的観察力と優しい心』建帛社 乳児保育研究会『乳児の保育新時代』ひとなる書房					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	後期授業内容のオリエンテーション、乳児保育の体験を振り返る ボランティア実習で出会った乳児保育の感想を伝えあう [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
2	乳児保育における保健活動：よくみられる疾患の症状を知り、保育者として留意すべき点について学ぶ [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
3	乳児の集団保育と安全： 予防、健診、予防接種等について理解を深める。乳児に多い症状の観察と看護、注意事項を知る。 [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
4	保育の記録と計画(1)記録について：保育記録の意義やとり方について学ぶ [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
5	保育の記録と計画(2)計画について：保育計画について具体的な例をみながら知識をもつ [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
6	乳児のあそびと環境 あそびのあり方：あそびの重要性を知ってかかわり方を考える [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
7	乳児のあそびの環境づくり 特徴と内容 年齢別の遊びの特徴と内容をして、レポートを増やしていく。0歳児むけのおもちゃをつくる [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
8	乳児のおもちゃを手作りしよう 参考資料をもとにして、未満児向けのおもちゃを自分たちでつくる計画を立てる(図書館利用) [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する。必要なものの準備をする。(1h)					
9	手作りおもちゃの作成 つくる 作成に必要な廃材を準備して作りきり、発表できるようにする [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
10	手作りおもちゃの作成 見合う 作ったおもちゃを各自が発表して評価しあう [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
11	あそび文化1 絵本やわらべうたというあそび文化や伝承あそびについて学ぶ 実際に乳児向けの手づくり絵本を作ってみる [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
12	あそびと文化2 未満児向けのふれあい遊びを考えて実際に演じてみる 未満児向けの絵本の読み方を工夫して発表しあう [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
13	子育て支援事業について 家庭にいる乳児が保育を求める現状と、地域と連携した子育て支援について理解する [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
14	子育て支援事業について 親が子育てを楽しみ、希望がもてる支援について [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
15	保育者の配慮と心構え 保育現場で子どもや親と接する心構えや職員間の配慮について学ぶ [準備・課題]今日の資料を整理して内容を復習する(0.5h)					
時間外での学習	日頃から赤ちゃんや1、2歳の子ども、親子に関心を持ってどのように生活したり遊んだりしているかなどを観察してみましょう。また、あなたの住んでいる地域ではどのような子育て支援をしているのか情報誌やホームページなどを見て関心を高めることも必要です。					
受講学生へのメッセージ	講義で知識を身につけ、演習では乳児にどのように接すればいいのか体験を通して学んでいきます。発達を知って保育できる力を身につけましょう。 オフィスアワー：H204研究室毎週金曜16:20～17:00					

障がい児保育 I		幼児教育学科		1年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：上杉 晴美						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	障がい児保育は「保育の原点である」という観点から、 (1)障がいを持つ子どもの保育の意義と必要性、(2)障がいを持つ子どもの心身の発達、 (3)それぞれの障がいの基礎的な知識と保育での配慮 について学びます。					
授業方法	講義と演習					
到達目標	1. [知識・理解] 障がいについての基礎的な知識について理解する。(◎) 2. [思考・判断・表現] 障がい特性や支援についてまとめたり、発表したりする事ができる。(◎) 3. [技能] 障がいを持つ子どもの援助について考えることができる。(○) 4. [関心・意欲・態度] 積極的に資料を調べたり、考えをまとめたりする事ができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	期末試験	30	-	15	-	45
	ワークシート	-	30	-	5	35
	参加意欲・受講態度	-	5	-	15	20
	合計	30	35	15	20	100
成績評価と割合	期末試験 45%、ワークシート 35%、授業への参加意欲・受講態度 20% の合計 100% で評価します。					
テキスト	伊藤健次 編『新・障害のある子どもの保育(第3版)』みらい(売店で購入してください)					
参考書・教材	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領 他、必要に応じて講義の中で紹介します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	講義のオリエンテーション(この講義で大切にしたいこと、授業の進め方、学習評価等について) 「障がい」について考える。 [準備・課題]あなたが知っている障がいを持っている人々について、まとめてみましょう。(1-2h)					
2	障がい児保育の理念と歴史 「障がい」の捉え方と障がい児保育の歴史について考える。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
3	発達の理解 乳幼児期の発達について学ぶ。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
4	障がいの理解と保育(1) 知的障がいの子どもの理解と支援について学ぶ。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
5	障がいの理解と保育(2) 自閉症スペクトラムの子どもの理解と支援について学ぶ。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
6	障がいの理解と保育(3) ADHD(注意欠如・多動性障がい)やLD(学習障がい)の子どもの理解と支援について学ぶ。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
7	障がいの理解と保育(4) コミュニケーション障がいの子どもの理解と支援について学ぶ。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
8	障がいの理解と保育(5) 運動障がい(脳性まひ)やてんかんの子どもの理解と支援について学ぶ。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
9	障がいの理解と保育(6) 聴覚障がいや視覚障がいの子の理解と支援について学ぶ。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
10	障がいの理解と保育(7) 情緒障がいなどの子の理解と支援について学ぶ。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
11	障がいのある子どもの保育の方法について学ぶ。 保育者の基本姿勢と遊びなどの活動への援助 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
12	障がいのある子どもの保育の計画と実践について学ぶ。 個別の支援計画と実践 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
13	障がいのある子どもの保護者や家族に対する理解と支援について学ぶ。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
14	障がいのある子どもとかかわる関係機関との連携について学ぶ。 療育センターや発達支援センターおよび小学校等との連携 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
15	まとめ 保育者として“子どもの世界を理解しようとする事”について考える。 [準備・課題]テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。 わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)					
時間外での学習	事前にテキストを読み、自分なりの考えをまとめておきましょう。 実際の子どもの関わりをイメージしてみましょう。					
受講学生へのメッセージ	子ども達は遊ぶ中で、関わりが深まり互いに成長していきます。ひとり一人の子どもの育ちに目を向けながら、子ども達がのびのびと充実した生活を送ることができる保育をめざしましょう。 オフィスアワーは、講義後に教室で行います。					

保育入門演習		幼児教育学科		1年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：内藤 敦子・名和 孝浩						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	保育所・幼稚園の集団生活の実際を知り、生活では欠かせない「手遊び」「読み聞かせ」等の活用方法を体験を通して学びます。また、日常の生活の中で、絵本の読み聞かせや手遊びが自然な流れで演じる技術もマスターし、子どもの心をつかむことのできる保育者としての感性や資質の向上を図ります。					
授業方法	この授業は、1「手遊び」2「読み聞かせ」3「現場体験」の3つを体験します。「手遊び」は、様々な手遊びを楽しむ保育者と子ども役を交替しながら全員の前で演じる体験を積み重ねます。「読み聞かせ」は年齢や発達段階に合った絵本の選び方や読み方を学習し、グループごとにお話を組み立て発表します。「現場体験」は保育現場における子どもの生活を見学し、子どもの実態や遊びの様子を理解します。					
到達目標	1. [知識・理解] 幼児の実態を理解し、幼児になったつもりで手遊び・読み聞かせ等を仲間と共に楽しむことができる。(◎) 2. [思考・判断・表現] 豊かな感性と表現力を養い、理想の保育者像を常に描き、研鑽に努めることができる。(○) 3. [技能] 季節や年齢に応じた手遊び・読み聞かせ等を子ども達に楽しく伝える保育技術を身につけることができる。(○) 4. [関心・意欲・態度] グループ発表や表現活動を通して、コミュニケーション能力を身につけ、誰とでも柔軟に関わることができる。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	演習・見学態度	-	-	-	30	30
	達成度	30	-	-	-	30
	発表・見学内容	-	-	20	-	20
	レポート	-	20	-	-	20
	合計	30	20	20	30	100
成績評価と割合	演習・見学態度 30%、達成度 30%、発表・見学内容 20%、レポート 20% の合計100%で評価します。この科目は1手遊び、2読み聞かせ、3現場体験を履修した上で合算し、単位数1単位の評価とします。3分の1以上欠席した学生には単位をあたえません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	必要に応じてプリントを配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
	第1週 オリエンテーション 1：手遊び ・手遊びの意義と効果について考える。・自己紹介と名前呼び遊び [準備・課題]手遊びの意義について記録にまとめる。(1h) 2：読み聞かせ ・子どもにとって絵本とは何かを考える。 ・子どもの頃に読んでもらった経験の中から読み聞かせのもつ意味を考える。 ・話し方や表情、演じ方のポイントを修得する。 [準備・課題]読み聞かせの中で育てたいもの別に分類しそれぞれ代表的な絵本を2冊ずつ選ぶ。(2h) 3：現場体験 ・授業ガイダンス、現場見学の留意点・マナーについて確認 [準備・課題]現場見学の視点や特に知りたいことなどをまとめておく。(2h) [手遊び] 第1回 0～2歳児の手遊び ・1対1の触れ合い遊びや古くから伝わる手遊びの技術を習得し、自分なりの演じ方を身につける。 [準備・課題]次回グループで発表できるように、今日学んだ手遊びの内1つを練習しておく。(1h) 第2回 集会時の手遊び・歌遊び(グループ発表) ・大勢の前で行う時の技術を習得する。 [準備・課題]次回一人で発表できるように、今日学んだ手遊びの内1つを練習しておく。(1h) 第3回 3～5歳児の手遊び ・手遊びのポイントをつかみ楽しく演じる。 ・基本の手遊びを年齢に応じて発展させる。(個人発表) [準備・課題]学習の成果を保育者になったつもりで個人発表できるように、今までに学んだ手遊びの内1つを練習しておく。(2h) [読み聞かせ] 第1回 0, 1, 2歳児への読み聞かせと発展遊び ・1対1のふれあいを大切にしながら、自分のよさを生かした話し方や接し方を身につける。 [準備・課題]0～2歳児に対して2冊の読み聞かせと発展遊びを考えて練習をし、実践例としてまとめる。(1h) 第2回 3, 4, 5歳児への読み聞かせと発展遊び ・1対1、大勢の前でのそれぞれの話し方や伝えたいこと、育てたいこと等のポイントを修得する。 [準備・課題]3～5歳児に対しての絵本を育てたいもの別に年齢毎に1冊ずつ選び、実践例としてまとめる。(2h) 第3回 大型絵本と紙芝居の読み方、演じ方(グループ演習)読み聞かせのグループ・個人発表の準備をする ・読み聞かせのポイントを理解して、伝えたいことを明確にもちながら、楽しく読み聞かせをする。(年齢に即した内容、語り方や演じ方、表情や発展遊びなど) [準備・課題]発表に向けて3～5歳児に対して、読み聞かせのグループ発表ができるように効果的な構成や演じ方を相談し、練習する。また、児童コーナー等に出かけ、子どもと一緒に読み聞かせを聞き、楽しさを共感し、実践に生かす。(2h) [現場体験] *大垣市立北幼保園 第1回 大垣市立北幼保園の見学、観察 各自が体験した保育現場について気付いた点について話し合い発表する。 [準備・課題]観察記録の整理(1h) 第2回 大垣市立北幼保園の見学、観察 各自が体験した保育現場について気付いた点について話し合い発表する。 [準備・課題]観察記録の整理(1h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
	<p>*わかたけ保育園</p> <p>第1回 わかたけ保育園の見学、観察 各自が体験した保育現場について気付いた点について話し合い発表する。 [準備・課題]観察記録の整理(1h)</p> <p>第2回 わかたけ保育園の見学、観察 各自が体験した保育現場について気付いた点について話し合い発表する。 [準備・課題]観察記録の整理(1h)</p> <p>※「手遊び」「読み聞かせ」「現場体験」をそれぞれ交替で受講し、保育入門演習とする。</p>
時間外での学習	見学で得た子どもの実態について振り返り、子どもの姿に応じた手遊びや読み聞かせなどが行えるようにしてください。毎回学習した手遊び、読み聞かせ等は、次回までに自分のものにし、人前で演じることができるように、各自復習しておいてください。わからない時は、聞きにきてください。
受講学生へのメッセージ	積極的に参加し、子どもの実態の把握と、豊かな表情、自分なりの表現力を身につけてください。オフィスアワーは内藤（H205）・名和（H211）で毎週木曜日の昼休みです。

保育技術演習	幼児教育学科		1年後期			
	1単位		演習	30時間		
[教員]：内藤 敦子・水谷 聡美						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	保育所・幼稚園等の集団生活では欠かせない「すばなし」「簡単パペット」「集団遊び」等の活用方法を学びます。それと同時に、遊びを通して社会性を高めたり、保育入門で学んだノウハウを生かし、さまざまな活動を自然な流れで演じるお話の技術もマスターし、保育者としての感性や資質の向上を図ります。					
授業方法	この授業は、1「すばなし」(担当：内藤)2「簡単パペット」(担当：水谷)3「集団遊び」(担当：内藤)の3つを、5コマずつ体験します。 「すばなし」は、年齢や発達段階に添った語りの基礎を学びます。「簡単パペット」は、制作と同時にその演じ方について学びます。「集団遊び」は、幼児になりきって集団で遊ぶ楽しさを味わい、遊びの進め方を学びます。					
到達目標	1. [知識・理解] 幼児になったつもりで、「すばなし」「簡単パペット」「集団遊び」等を、仲間と共に楽しむことができる。(◎) 2. [思考・判断・表現] 豊かな感性と表現力を養い、理想の保育者像を常に描き、研鑽に努めることができる。(○) 3. [技能] 年齢や発達に応じた指導・援助等の保育技術を身につけることができる。(○) 4. [関心・意欲・態度] 遊びや表現活動を通してコミュニケーション能力を身につけ、誰とでも柔軟に関わることができる。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	演習態度	-	-	-	30	30
	達成度	30	-	-	-	30
	発表内容	-	-	20	-	20
	レポート	-	20	-	-	20
	合計	30	20	20	30	100
成績評価と割合	演習態度 30%、達成度 30%、発表内容 20%、レポート 20% の合計100%で評価します。 この科目は1「すばなし」2「簡単パペット」3「集団遊び」を履修した上で合算し、単位数1単位の評価とします。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	特にありません。					

内容	
実施回	授業内容・目標
	【すばなし】 第1回 オリエンテーション ・すばなしの意義、心をつかむすばなし実践のポイントを習得する。 [準備・課題] 今までの生活の中での「すばなし」の種類を分類してまとめる。(1h) 第2回 0～2歳児へのすばなし ・1対1の触れ合いを大切にしながら、自分を活かした話し方や接し方を身につける。 [準備・課題] 0～2歳児に対しての「すばなし」を実践例としてまとめる。(1h) 第3回 3～5歳児へのすばなし ・1対1、大勢の前でのそれぞれの話し方や伝えたいこと・育てたいこと等のポイントを習得する。 [準備・課題] 3～5歳児に対しての「すばなし」を種類別の実践例としてまとめる。(1h) 第4回 3～5歳児へのすばなし ・すばなしのポイントを活かしながら楽しく話す。(グループ演習) [準備・課題] 3～5歳児に対しての「すばなし」を発表できるように文章化し、効果的な話し方を練習する。(2h) 第5回 「すばなし」の個人発表と反省 ・すばなしの基礎を理解して、伝えたいことを明確にもちながら楽しく話す。(年齢に即した内容、具体的な語り方、表情など) [課題] 総合的なまとめの復讐。(1h)
	【簡単パペット】 第1回 オリエンテーション ・簡単パペットの活用について参考資料及び制作手順の説明。簡単パペット1制作 [準備・課題] 簡単シアターの活用についてまとめ、パペット1を完成させる(1h) 第2回 ・簡単パペット2土台作り [準備・課題] (1h)パペット2の土台を完成させる 第3回 ・簡単パペット2部品の制作と取り付け [準備・課題] パペットに部品を取り付ける(1h) 第4回 ・パペット用小物制作、グループ演習 [準備・課題] 小物を完成させ、次回の発表練習をする。(2h) 第5回 ・パペットの活用方法を工夫して発表する。 [課題] 自分の作品を実習に生かせるように演じ方を記録に残す。(1h)
	【集団遊び】 第1回 オリエンテーション(この授業で学ぶこと、心構え、進め方等) 「椅子を使った遊び」 ・言葉や指示に従う遊びを楽しむ。 [準備・課題] 今日学んだ集団遊びの進め方及び「椅子を使った遊び」の内容をノートに記録する。(1h) 第2回 「わらべ歌遊び」 ・昔ながらの言葉のやりとりのおもしろさを楽しむ。(はないちもんめ・たけのこ1本おくれ等) [準備・課題] 今日学んだ「わらべ歌」を歌詞及び遊び方を図示して記録する。(1h) 第3回 「じゃんけんを使った遊び」 ・じゃんけんを使ったいろいろな遊びを楽しみチーム戦に発展させる。(じゃんけん汽車・ドンじゃんけん等) [準備・課題] 今日学んだ「じゃんけんを使った遊び」の遊び方を図示して記録する。(1h)

内容	
実施回	授業内容・目標
第4回	<p>「鬼遊び」(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話から発展した鬼ごっこのおもしろさを楽しむ。(おおかみさん今何時?・ねことねずみ・子とろ等) <p>[準備・課題] 今日学んだ「鬼遊び」の遊び方を図示して記録する。(1h)</p>
第5回	<p>「鬼遊び」(2)まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで作ったルールを守って遊ぶ楽しさを知る。(いろ鬼・島鬼・ひょうたん鬼・引越し鬼等) ・友だちと鬼ごっこの作戦をたてたりして、チーム戦を楽しむ。(氷鬼・どろけい等) <p>[課題] 今日学んだ「鬼遊び」の遊び方を図示して記録し、5回分の記録をレポートとしてまとめる。(1h)</p> <p>※「すばなし」「簡単パペット」「集団遊び」の第1回から第5回をそれぞれ交替で受講し、保育技術演習とする。</p>
時間外での学習	<p>「すばなし」は、児童コーナーで行われている「おはなし」の場等を見学し、実践に向けての学びの場を求めましょう。</p> <p>「簡単パペット」は、実習で活用したり、ボランティア活動に参加し技術を磨きましょう。</p> <p>「集団遊び」は、実習や実務研修に利用できるように、遊び方、留意点等を各自ノートに整理しておきましょう。</p>
受講学生へのメッセージ	<p>「すばなし」では話をするを楽しみ、子どもの心に響くお話ができるように努力しましょう。</p> <p>「簡単パペット」では素早く作成し演じ方を工夫しましょう。</p> <p>「集団遊び」は運動できる服装と靴で参加してください。</p> <p>オフィスアワー 内藤 (H205) 木曜日12:10~13:00 水谷 (H201) 金曜日10:40~12:40</p>

音楽Ⅰ		幼児教育学科		1年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：光井 恵子・小川 寿実子・竹内 美樹・高木 彩也子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	教育者、保育者になるために必要な音楽を基礎から学び、幅広い音楽性を身に付けていきます。クラス授業では教育や保育に必要な音楽理論を学び、ピアノ実技では各自の進度に応じた個人レッスンをを行います。					
授業方法	二つのグループに分け、クラス授業とピアノ実技を毎時交替しながら行います。グループ毎に教室が異なりますので、しっかり確認して受講してください。					
到達目標	1. [知識・理解] 教育者、保育者になるために必要な音楽基礎知識を理解し、説明することができる。(○) 2. [思考・判断・表現] 音楽の楽しさを表現することができる。(○) 3. [技能] 保育におけるピアノ演奏技術の基本を身につける。(○) 4. [関心・意欲・態度] 理想の保育者像を常に描きながら積極的に課題に取り組むことができる。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	10	-	20
	レポート	10	10	-	-	20
	達成度	15	-	15	-	30
	受講態度	-	-	-	30	30
	合計	25	20	25	30	100
成績評価と割合	実技試験 20%、レポートの内容 20%、達成度 30%、受講態度 30% の合計100%で評価します。3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	クラス授業：『音楽通論』教育芸術社(売店で購入してください) ピアノ実技：『バイエル教則本』全音楽譜出版社 『バイエル教則本』終了者は、各自のレベルに合わせた楽譜(各自所有の楽譜等)を持参してください。					
参考書・教材	『ブルクミュラー25の練習曲』『ソナチネアルバム1』等 必要な資料は授業で配布します。幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	クラス授業：楽譜の仕組みについて (1) 譜表、音名 [準備・課題] 学習した内容を楽譜から読み取り、ピアノ練習に活用する (1~2h) ピアノ実技：クラス分けとミーティング 各自のレベルに合わせた個人レッスン (選曲と今後の方針) [準備・課題] 次の授業でのレッスン曲を練習する (3h)					
2	クラス授業：楽譜の仕組みについて (2) 音符、休符 [準備・課題] 学習した内容を楽譜から読み取り、ピアノ練習に活用する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
3	クラス授業：楽譜の仕組みについて (3) 拍子、小節 [準備・課題] 学習した内容を楽譜から読み取り、ピアノ練習に活用する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
4	クラス授業：音楽の仕組みについて (1) [音程①] 単音程 2・3度音程 [準備・課題] 学習した内容を復習し、音程は鍵盤上で確認する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
5	クラス授業：音楽の仕組みについて (2) [音程②] 単音程 6・7度音程 [準備・課題] 学習した内容を復習し、音程は鍵盤上で確認する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
6	クラス授業：音楽の仕組みについて (3) [音程③] 単音程 1・4・5・8度音程 [準備・課題] 学習した内容を復習し、音程は鍵盤上で確認する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
7	クラス授業：音楽の仕組みについて (4) [音程④] 派生音を含む音程と複音程 [準備・課題] 学習した内容を復習し、音程は鍵盤上で確認する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
8	クラス授業：音楽の仕組みについて (5) [音階①] 長音階 (ハ長調・ト長調・ニ長調・イ長調) [準備・課題] 学習した内容を復習し、各調の音階を鍵盤上で確認する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
9	クラス授業：音楽の仕組みについて (6) [音階②] 長音階 (ヘ長調・変ロ長調・変ホ長調) [準備・課題] 学習した内容を復習し、各調の音階を鍵盤上で確認する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
10	クラス授業：音楽の仕組みについて (7) [音階③] 短音階 (イ短調の自然的短音階・和声的短音階・旋律的短音階) [準備・課題] 学習した内容を復習し、各調の音階を鍵盤上で確認する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
11	クラス授業：音楽の仕組みについて (8) [音階④] 短音階 (二短調・ホ短調・ト短調・ハ短調) [準備・課題] 学習した内容を復習し、各調の音階を鍵盤上で確認する (1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン (正確な譜読み、さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習 (3h)					
12	クラス授業：音楽の仕組みについて (9) 音程と音階の復習 さまざまな音楽の標語・記号 [準備・課題] 学習した内容を復習し、楽譜から標語や記号を読み取る (1~2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
	ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン（正確な譜読み、さまざまな表現法等） [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習（3h）
13	クラス授業：課題レポートの内容説明と作成に向けて [準備・課題] 学習した内容を復習し、レポートを作成する（1～2h） ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン（試験に向けて課題曲の練習） [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習、試験曲の練習（3h）
14	クラス授業：課題レポートの個別指導と作成 [準備・課題] 学習した内容を復習し、レポートを完成させる（1～2h） ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン（試験に向けて課題曲の練習） [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習、試験曲の練習（3h）
15	クラス授業：前期のまとめと後期に向けての課題 [準備・課題] 総合的に復習し、前期全体のまとめをする（1～2h） ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン（試験に向けて課題曲の仕上げ） [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習、試験曲の練習（3～6h）
時間外での学習	教育者、保育者として子どもたちを指導するために必要な音楽の基礎力を身につけていきますので、ピアノの練習は毎日行い、積極的に予習・復習に取り組んでください。質問等があれば、研究室（A307：A号館3F）へきてください。
受講学生へのメッセージ	音楽をしっかりと学び、その技術・技能を身につけることは、保育者として指導力に大きく関わります。体調を常に整えて、遅刻、欠席しないように心がけましょう。爪はしっかり切っておいてください。オフィスアワーは研究室（A307：A号館3F）で毎週火曜日の16：20から17：30です。

音楽Ⅱ	幼児教育学科		1年後期			
	1単位		演習	30時間		
[教員]：光井 恵子・小川 寿実子・竹内 美樹・高木 彩也子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	クラス授業では前期の基礎知識をもとにして、音楽の実用方法を学び、ピアノ実技では、各自の進度に応じてさらに演奏技術を高め、表現力を身につけていきます。					
授業方法	前期同様、二つのグループに分け、クラス授業とピアノ実技を毎時交替しながら行います。グループ毎に教室が異なりますので、しっかり確認して受講してください。					
到達目標	1. [知識・理解] 教育者、保育者になるために必要な音楽基礎知識を理解し、説明することができる。(○) 2. [思考・判断・表現] 幅広い音楽ジャンルの曲を理解し、音楽の楽しさを表現しそれを人に伝えることができる。(○) 3. [技能] 保育におけるピアノ演奏技術を基礎から応用まで身につける。(○) 4. [関心・意欲・態度] 理想の保育者像を常に描きながら豊かな感性を持ち、積極的に課題に取り組むことができる。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	10	-	20
	レポート	10	10	-	-	20
	達成度	15	-	15	-	30
	受講態度	-	-	-	30	30
	合計	25	20	25	30	100
成績評価と割合	実技試験 20%、レポートの内容 20%、達成度 30%、受講態度 30% の合計100%で評価します。3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	クラス授業：『音楽通論』教育芸術社(売店で購入してください) ピアノ実技：『バイエル教則本』他全音楽譜出版社 『バイエル教則本』終了者は、各自のレベルに合わせた楽譜(各自所有の楽譜等)を持参してください。					
参考書・教材	『ブルクミュラー25の練習曲』『ソナチネアルバム1』等 必要な資料は授業で配布します。幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	クラス授業：前期の復習(音程、音階等) [準備・課題] 学習した内容を復習し、音程、音階は鍵盤上で確認する(1~2h) ピアノ実技：休暇中の課題曲の発表とアドヴァイス [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
2	クラス授業：和音の仕組みについて(1)長三和音と短三和音 [準備・課題] 学習した内容を復習し、和音の違いを鍵盤上で確認する(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
3	クラス授業：和音の仕組みについて(2)増三和音と減三和音 [準備・課題] 学習した内容を復習し、和音の違いを鍵盤上で確認する(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
4	クラス授業：和音の仕組みについて(3)属七の和音と短七の和音 [準備・課題] 学習した内容を復習し、和音の違いを鍵盤上で確認する(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
5	クラス授業：和音の仕組みについて(4)減七の和音 [準備・課題] 学習した内容を復習し、和音の違いを鍵盤上で確認する(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
6	クラス授業：和音の仕組みについて(5)音階上の三和音とコードネーム [準備・課題] 学習した内容を復習し、コードネームを鍵盤上で確実に覚える(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
7	クラス授業：和音の仕組みについて(6)音階上の四和音とコードネーム [準備・課題] 学習した内容を復習し、コードネームを鍵盤上で確実に覚える(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
8	クラス授業：コード進行法について(1)主要三和音を用いて [準備・課題] 学習した内容を復習し、コードネームを鍵盤上で確認しながら練習する(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
9	クラス授業：コード進行法について(2)主要三和音と属七の和音を用いて [準備・課題] 学習した内容を復習し、コードネームを鍵盤上で確認しながら練習する(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
10	クラス授業：コード進行法について(3)主要三和音・属七の和音と副三和音を用いて [準備・課題] 学習した内容を復習し、コードネームを鍵盤上で確認しながら練習する(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
11	クラス授業：キーボードハーモニーについて(1)簡単な子どもの歌の伴奏づけ(C・Gを用いて) [準備・課題] 学習した内容を復習し、ピアノ伴奏の練習を行う(1~2h) ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン(正確な譜読み・さまざまな表現法等) [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習(3h)					
12	クラス授業：キーボードハーモニーについて(2)簡単な子どもの歌の伴奏づけ(C・F・Gを用いて) [準備・課題] 学習した内容を復習し、ピアノ伴奏の練習を行う(1~2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
	ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン（正確な譜読み・さまざまな表現法等） [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習（3h）
13	クラス授業：キーボードハーモニーについて（3）簡単な子どもの歌の伴奏づけ （C・F・G・G7を用いて） [準備・課題] 学習した内容を復習し、ピアノ伴奏の練習を行う（1～2h） ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン（後期試験に向けて課題曲の選曲と練習） [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習、試験曲の練習（3h）
14	クラス授業：課題レポートの内容説明と作成に向けて [準備・課題] 学習した内容を復習し、レポートを作成する（2～3h） ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン（後期試験に向けて課題曲の練習） [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習、試験曲の練習（3h）
15	クラス授業：課題レポートの作成と後期のまとめ [準備・課題] 学習した内容を復習し、レポートを完成させる（2～3h） ピアノ実技：各自のレベルに合わせた個人レッスン（後期試験に向けて課題曲の練習と仕上げ） [準備・課題] レッスン内容の復習とレッスン曲の予習、試験曲の練習（3～6h）
時間外での学習	教育者、保育者として子どもたちを指導するために必要な音楽の基礎力を身に付けていきますので、ピアノの練習は毎日行い、積極的に予習、復習に取り組んでください。 質問等があれば、研究室（A307：A号館3F）へきてください。
受講学生へのメッセージ	音楽をしっかりと学び、その技能、技術を身に付けることは、保育者として指導力に大きく関わります。体調を常に整えて、遅刻、欠席をしないように心がけましょう。爪はしっかり切っておいてください。 オフィスアワーは研究室（A307：A号館3F）で毎週火曜日16：20から17：30です。

図画工作 I		幼児教育学科		1年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：水谷 聡美						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	子どもにとって描画や造形活動は楽しい遊びであり自己表現の一つです。作品の出来栄えより、子ども一人ひとりが造形遊びを楽しみ何かを感じたり発見したりしながら豊かな感性を育み、自ら考え工夫する事が重要です。授業では絵画や造形の基礎を学びます。子どもの気持ちを理解するためにも自らが描画や造形遊びを楽しんでください。加えて実践力を養うための一端として毎時間「おりがみ」に取り組みます。					
授業方法	演習					
到達目標	1. [知識・理解] 造形の基礎知識や技法を学びながら、子どもの造形について理解することができる。(○) 2. [思考・判断・表現] 他学生と互いの作品の個性や良さに気づき、保育者に必要な豊かな感性と表現力を養う。(◎) 3. [技能] 造形活動に必要な環境構成を考えながら、個人制作や共同制作を行うことができる。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 毎回の課題(予習・復習・準備)を行い積極的に取り組み、造形表現を楽しむことができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	課題提出	-	25	30	-	55
	レポート	15	15	-	-	30
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計	15	40	30	15	100
成績評価と割合	制作課題 55%、レポート 30%、受講態度(共同制作の取組姿勢) 15% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席の場合、単位を与えません					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	参考書：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領 教材：折り紙、おりがみ帳、工作セットは毎回持参すること。描画セットなどは授業毎に指示します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション(制作レポートの書き方・ファイリング方法・学修方法と評価) 「おりがみ」制作1 クレヨンの使い方を学ぶ 課題1:クレヨンの準備体操・ワークプリント・制作レポート [課題]・おりがみ帳と制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h)					
2	「おりがみ」制作2 色の関係について学ぶ 課題2:色相環表作り・ワークプリント [課題]・おりがみ帳と制作課題の完成・配布物をファイルする(1h)					
3	「おりがみ」制作3 クレヨンでの重色と混色を学ぶ 課題3:マチエールカード・ワークプリント [課題]・おりがみ帳と制作課題の完成・配布物をファイルする(1h)					
4	「おりがみ」制作4 クレヨンを使った技法を学ぶ 課題4:フロッタージュ技法 課題:5スクラッチ技法 [課題]・おりがみ帳と制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
5	「おりがみ」制作5 クレヨンと絵の具を使った技法を学ぶ 課題6:パチック技法(にじみ・重色と混色) [課題]・おりがみ帳と制作課題、制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
6	「おりがみ」制作6 絵の具での描画方法を学ぶ 課題7:にじみ技法で描くいちご [課題]・おりがみ帳と制作課題、制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
7	「おりがみ」制作7 動きを描くクロッキー 課題8:クレヨンによるクロッキー [課題]・おりがみ帳と制作課題、制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
8	「おりがみ」制作8 クロッキーの展開 課題9:ワイヤーで描く金属画 [課題]・おりがみ帳と制作課題、制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
9	「おりがみ」制作9 紙について学ぶ 課題10:紙で作る立体造形・七夕飾り [課題]・おりがみ帳と制作課題、制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
10	「おりがみ」制作10 新聞紙で遊ぶ・新聞紙で作る 課題11:新聞紙の造形遊び [課題]・おりがみ帳と制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
11	「おりがみ」制作11 新聞紙粘土でつくる 課題12:立体作品 [課題]・おりがみ帳と制作課題、制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
12	「おりがみ」制作12 紙皿に描く 課題13:絵皿 [課題]・おりがみ帳と制作課題、制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
13	「おりがみ」制作13 感触遊びの展開 課題14:フィンガーペイント&モノプリント・ボディペイント&モノプリント [課題]・おりがみ帳と制作課題、制作レポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
14	「おりがみ」制作14 スタンプ遊び 課題15:ゆびスタンプ・廃材スタンプ・野菜スタンプ [課題]・おりがみ帳と制作課題、制作レポートの完成 ・前期の平面作品、制作レポート、プリント等を全てファイルする(1~3h)					
15	「おりがみ」制作15 句を描くクレヨン画 課題16:夏野菜・まとめ・レポート課題 [課題]・おりがみ帳とレポートの完成・配布物をファイルする(1h~2h)					
時間外での学習	・毎回の[課題]は必ず行ってください。保育者として相応しい姿勢を考え授業に臨んでください。 ・次回の取組への準備をしてください					
受講学生へのメッセージ	幼稚園教諭免許・保育士資格に必要な科目です。多くのことを吸収して自分のものにしてください。忘れ物は他の人にも迷惑をかけます。また、欠席すると提出物が出せず減点になります。忘れ物、提出期限の遅れも減点対象になります。欠席、遅刻、忘れ物のないように意欲的な受講態度で参加してください。 オフィスアワー 水谷 (H201) 金曜日10:40~12:40					

図画工作Ⅱ		幼児教育学科		1年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：水谷 聡美						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	子どもにとって描画や造形活動は楽しい遊びであり自己表現の一つです。作品の出来栄えより、子ども一人ひとりが造形遊びを楽しみ何かを感じたり発見したりしながら豊かな感性を育み、自ら考え工夫する事が重要です。授業では絵画や造形の基礎を学びます。子どもの気持ちを理解するためにも自らが描画や造形遊びを楽しんでください。加えて実践力を養うための一端として毎時間「おりがみ」に取り組みます。					
授業方法	演習					
到達目標	1. [知識・理解] 造形の基礎知識や技法を学びながら、子どもの造形について理解することができる。(○) 2. [思考・判断・表現] 他学生と互いの作品の個性や良さに気づき、保育者に必要な豊かな感性と表現力を養う。(◎) 3. [技能] 造形活動に必要な環境構成を考えながら、個人制作や共同制作を行うことができる。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 毎回の課題(予習・復習・準備)を行い積極的に取り組み、造形表現を楽しむことができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	課題提出	-	25	30	-	55
	レポート	15	15	-	-	30
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計	15	40	30	15	100
成績評価と割合	制作課題 55%、レポート 30%、受講態度(共同制作の取組姿勢) 15% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席の場合、単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	参考書：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領 教材：折り紙、おりがみ帳、工作セットは毎回持参すること。描画セットなどは授業毎に指示します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション(前期の振り返りと後期の学修内容) 「おりがみ」制作1 紙で作る立体造形 課題1: 南瓜 [課題]・おりがみ帳と課題の完成、制作レポートの記入、配布物をファイルする(1~2h)					
2	「おりがみ」制作2 墨絵屏風を作る① 課題2: 台紙作りと背景 [課題]・おりがみ帳と課題、制作レポートの完成(1~2h)					
3	「おりがみ」制作3 墨絵屏風を作る② 課題3: 野草を描く [課題]・おりがみ帳と課題、制作レポートの完成、配布物をファイルする(1~2h)					
4	「おりがみ」制作4 牛乳パックで作る① 課題4: パクパク人形 [課題]・おりがみ帳と課題、制作レポートの完成、配布物をファイルする(1~2h)					
5	「おりがみ」制作5 牛乳パックで作る② 課題5: びっくりワニさん [課題]・おりがみ帳と課題作品、制作レポートの完成、配布物をファイルする(1~2h)					
6	「おりがみ」制作6 牛乳パックで作る③ 課題6: クリスマスツリー [課題]・おりがみ帳と課題作品、制作レポートの完成、配布物をファイルする(1~2h)					
7	「おりがみ」制作7 紙粘土で作る 課題7: オーナメント [課題]・おりがみ帳と課題の完成、制作レポートの記入、配布物をファイルする(1~2h)					
8	「おりがみ」制作8 紙粘土で描く 課題8: 小さな壁飾り [課題]・おりがみ帳と課題作品、制作レポートの完成、配布物をファイルする(1~2h)					
9	「おりがみ」制作9 はさみの使い方を学ぶ 課題9: ポップアップカード [課題]・おりがみ帳と課題作品、制作レポートの完成、配布物をファイルする(1~2h)					
10	第10週: 「おりがみ」制作10 カッターナイフ・デザインナイフの使い方を学ぶ 課題10: 切り絵 [課題]・おりがみ帳と課題作品の完成(1h~2h)					
11	「おりがみ」制作11 コラージュ技法を学ぶ① 課題11: 素材の切抜きと加工 [課題]・おりがみ帳と課題作品の完成(1h~2h)					
12	「おりがみ」制作12 コラージュ技法を学ぶ② 課題12: 素材の張り合わせ、完成 [課題]・おりがみ帳と課題作品の完成(1h~2h)					
13	「おりがみ」制作13 共同制作①(大型立体造形作品)制作の目的と取組内容について ・グループ分け、土台制作 課題13: 共同作品 [課題]・おりがみ帳と課題作品の完成(1h~2h)					
14	「おりがみ」制作14 共同制作②(大型立体造形)共同作品制作 [課題]・おりがみ帳と制作課題の完成(1~2h)					
15	「おりがみ」制作15 共同制作③(大型立体造形)共同作品完成 まとめ ・レポート課題 造形用具の手入れ [課題]・おりがみ帳とレポートの完成 後期の平面作品、立体作品の写真、制作レポート、プリント等を全てファイルする(1h~2h)					
時間外での学習	・毎回の[課題]は必ず行ってください。保育者として相応しい姿勢を考え授業に臨んでください。 ・次回の取組への準備をしてください					
受講学生へのメッセージ	幼稚園教諭免許・保育士資格に必要な科目です。多くのことを吸収して自分のものにしてください。忘れ物は他の人にも迷惑をかけます。また、欠席すると提出物が出せず減点になります。忘れ物、提出期限の遅れも減点対象になります。欠席、遅刻、忘れ物のないように意欲的な受講態度で参加してください。 オフィスアワー 水谷 (H201) 金曜日10:40~12:40					

国語	幼児教育学科		1年前期	
	2単位		講義	30時間

[教員]：今井 美都子

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容	国語の基本である「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」、この4つの領域の言語生活力を向上させる能力を養う。保育現場当事者（保育園園長・子どもの言葉の専門家等）のエッセイ（柴田愛子・今井和子・菅澤順子）、実践論文、保育関連記事、国語科教材、文学作品（絵本も含む）等を教材にして、読解力、し思考力、言語力を育てる。特に、保育者として資質を高めることに繋がる作品を意識して幅広く読み、思考深く、豊かな表現力を培い、保育実践力をつける。
------	---

授業方法	講義を中心にしつつ、毎回テーマに沿って様々な作品を読む（黙読）。時には、実際に順次音読し、個々のコメントを書く。問題点等を発表し、互いの意見交換をしながら授業を進行する。
------	---

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> [知識・理解] 保育者として専門的知識を習得するために必要な読解力を身につけ保育の本質を理解することができることによって、子どもに応じた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を習得することができる。(◎) [思考・判断・表現] 豊かな感性と表現力を養い、保育者としての自覚を持って、子どもの健やかな成長のために時代のニーズに柔軟に対応した保育実践を行うことのできる思考力、判断力、そして実際に表現する力をつけることによって地域や保護者に適切な発信ができる。(◎) [技能] 保育実践に必要な情報を的確に読み解く力（メディアリテラシー）を身につけて、それを保育技術に生かして、子どもとの関係をより良いものとする。さらに職員と協働するとともに、地域や保護者と連携できるコミュニケーション力をつけることができる。(△) [関心・意欲・態度] 言語による表現力と理解力を身につけることによって、自己を確立し、社会人としての幅広いコミュニケーション能力を身につけることによって、保育と社会に関する諸現象に関心を寄せ、前向きに対応する意欲と態度を持って、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していこうとすることができる。(△)
------	---

観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	30	20	10	-	60
	発表・レポート	10	10	-	-	20
	自己評価	5	5	-	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	45	35	10	10	100

成績評価と割合	試験(まとめテスト：記述1回) 60%、発表・レポート 20%、自己評価(最終日) 10%、受講態度 10% の合計 100% で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生は単位を与えません。
---------	---

テキスト	ありません。
------	--------

参考書・教材	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育保育要領 毎週、レジュメ、資料を配布します。
--------	--

内容	
実施回	授業内容・目標
1	講義のガイダンス。「話すこと」を実践する(全員) [準備・課題]自身を語る。3分で思いを伝えるために必要なこと。項目を立てる。(3h)
2	目的を持って図書館に行って、本を探す。選んだ本について発表する。 「4月の子どもの姿」をエッセイを通して知る。 [準備・課題]他の人の選書から学んだことをまとめる(3~4h)
3	読書リテラシーを育てる①子ども時代の読書体験を語り、書く。 [準備・課題]授業内で紹介された作品について調べる(3~5h)
4	読書リテラシーを育てる②知識を広げる読みについて(実例をあげて考える) [準備・課題]作品を選び、調べる(4h)
5	表現方法の違いを考察する。①絵本と文学の違いについて 「5月の子どもの姿」をエッセイを通して知る。 [準備・課題]他の実例を探し、課題を提示する(3h)
6	表現方法の違いを考察する。②視点をかえて作品を読む [準備・課題]図書館で調べる(3h)
7	翻訳について考察する。①例その1、『大きな木』/「6月の子どもの姿」をエッセイを通して知る。 [準備・課題]作者について調べてまとめる(5h)
8	翻訳について考察する。②例その2、『ぼく、つかまらないもん』 [準備・課題]作者について調べてまとめる(5h)
9	国語教材を読み解く①「おおきなかぶ」 [準備・課題]比較して、違いをまとめる(3h)
10	国語教材を読み解く②「スイミー」 [準備・課題]作者について調べる(5h)
11	国語教材を読み解く③「三枚のおふだ」「ごんぎつね」 [準備・課題]背景、経緯を調べまとめる(3h)
12	国語教材を読み解く④「スーホの白い馬」/「7月の子どもの姿」をエッセイを通して知る。 [準備・課題]図書館で調べる(3h)
13	子どもの視点に立って文学作品を読む。 [準備・課題]様々な作品を読み比較しまとめる(5h)
14	子どもの視点に立って絵本を読む。 [準備・課題]様々な作品を読み比較しまとめる(5h)
15	まとめ。レポート・論文の書き方と基本ルール [準備・課題]総合的なまとめと復習(9h)

時間外での学習	様々なジャンルの作品を読み、社会に対して問題意識を持って生活してください。
---------	---------------------------------------

受講学生へのメッセージ	日常生活で出会う、子どもたちの行動を観察してください。 オフィスアワーは、講義終了後教室で行います。
-------------	---

児童文化	幼児教育学科		1年後期			
	1単位		演習	30時間		
[教員]：今井 美都子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	「児童文化」の領域を広くとらえて、様々な視点から子どもと文化の関係を考察する。そして、子どもの健やかな発達、生活を保障するために、どのような文化財や文化的環境が大切なのかを考える。そのために、広く地域で展開されている子どもの学習・文化活動の取り組みを知るとともに、児童文化財についても知識を習得する。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を想定し、子どもたちと共に保育者として日常生活の中で日本古来や地域社会における様々な文化や伝統に親しむための知識、方法を習得する。					
授業方法	講義を中心に、それぞれの子ども時代を振り返りながら子どもと文化と社会の関係を考える。紙芝居、絵本の読み聞かせ、わらべうた、子ども番組、音楽等、実践を交えながら児童文化を体感し、今後の課題等を考察する。また、児童文化活動の実践としての「読み聞かせ」を皆の前で発表し、意見交換をする。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> [知識・理解] 保育者として子どもにとって必要な児童文化を理解し、知識を得て子どもと一緒に体現し、成長を見守り支援することができる。さらに子育て支援を行うための知識を習得することができる。(◎) [思考・判断・表現] 子どもの健やかな成長のために発達段階に応じた文化活動を思考し、判断することができ、保育の本質を基盤とした児童文化の必要性を実践を通して表現し、地域や保護者に適切な発信ができる。(◎) [技能] 保育現場で地域に合わせた文化を実践し、様々な価値観や地域の特性を身につけることができる。また、職員と協働して、地域や保護者と連携し、児童文化活動を深めることができる。(△) [関心・意欲・態度] 社会人として保育者の役割を自覚し、社会への関心と問題意識をもち率先して文化的アプローチを、地域は保護者とともに行動することができる。(○) 					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	25	25	-	-	50
	「読み聞かせ」実践発表	10	-	5	5	20
	レポート	10	5	-	-	15
	自己評価	-	-	-	5	5
	受講態度	-	-	-	10	10
合計	45	30	5	20	100	
成績評価と割合	試験(まとめテスト：記述1回) 50%、発表・レポート 35%、自己評価・受講態度 15% の合計 100% で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生は単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領 毎週、レジュメ、資料を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	講義のガイダンス。「児童文化」に関するエッセイ、コラムを読む。 [準備・課題] <児童文化>からイメージすることを書き出し、課題を提示する (3h)					
2	「児童文化」の概念について。歴史的背景。 [準備・課題] <子ども文化>と同じか否かを考える (3h)					
3	子どもの生活と発達をめぐる歴史と今日的課題。 [準備・課題] 子ども時代を振り返り比較する (3h)					
4	子どもの権利条約における子どもの発達権と遊ぶ権利。 [準備・課題] 関連資料を探しまとめる (5h)					
5	児童文化を豊かにする保育とは①保育の環境。/「読み聞かせ」実践 [準備・課題] 事例を提示して考える (3h)					
6	児童文化を豊かにする保育とは②保育の内容と方法。/「読み聞かせ」実践 [準備・課題] 事例と比較して考える (3h)					
7	地域社会における子どもの学習文化活動①児童館・図書館。/「読み聞かせ」実践 [準備・課題] 現状を把握しまとめる (3h)					
8	地域社会における子どもの学習文化活動②「文庫」、プレイパーク。/「読み聞かせ」実践 [準備・課題] 全国施設を比較しまとめる (5h)					
9	児童文化活動を模擬実演する①絵本の「読み聞かせ」。/「読み聞かせ」実践 [準備・課題] 図書館等で資料を探す (3h)					
10	児童文化活動を模擬実演する②紙芝居：歴史・背景。/「読み聞かせ」実践 [準備・課題] 図書館等で教材を探す (5h)					
11	児童文化活動を模擬実演する③わらべうた：歴史・背景。/「読み聞かせ」実践 [準備・課題] 現状を調べてまとめる (3h)					
12	児童文化とメディア。/「読み聞かせ」実践 [準備・課題] 社会背景と課題を提示する。(3h)					
13	ブックスタートと子育て支援。/「読み聞かせ」実践 [準備・課題] 社会背景と現状を調べてまとめる (5h)					
14	「著作権」について。 [準備・課題] 現状を把握し、調べてまとめる (5h)					
15	まとめ。 [準備・課題] 児童文化活動の今後について総合的に思考する (9~11h)					
時間外での学習	地域の文化活動に関心を持ち、実践する機会を持ってください。					
受講学生へのメッセージ	現代社会における子どもの生活を注視してください。 オフィスアワーは、講義終了後教室で行います。					

保育実習 I a		幼児教育学科		1年後期		
		2単位		実習	90時間	
[教員]：内藤 敦子・名和 孝浩						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能とそこでの保育士の職務について学ぶ。					
授業方法	保育実習園でのオリエンテーション及び実習園での保育実習を90時間行います。なお、保育実習を履修する際、本学または、実習園で決められた事項を遵守できない場合は、実習を中止することがあります。					
到達目標	1. [知識・理解] 保育所の一日の流れを理解すると共に、実習施設や保育内容について学ぶ。(△) 2. [思考・判断・表現] 子どもと共に活動しながら観察し、乳幼児理解に努め、その記録を日誌にまとめる。(○) 3. [技能] 保育を部分的に担当しながら保育技術を習得する。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 積極的に保育に参加し、保育士の役割について学ぶ。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	「実習指導 I a」の評価	10	-	-	-	10
	実習日誌の評価	-	20	10	-	30
	実習園の評価	-	-	20	30	50
	提出物	-	-	-	10	10
	合計	10	20	30	40	100
成績評価と割合	授業「実習指導Ia」の評価 10%、実習日誌の評価 30%、実習園の評価 50%、実習にあたっての提出物 10%の合計100%で評価します。					
テキスト	なし					
参考書・教材	『幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド』わかば社 『保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領』 フレーベル館					
内容						
実施回	授業内容・目標					
	第1回 実習園での オリエンテーション 第2回～第8回 保育所での保育実習 (45時間) (1) 観察を中心とした実習 ・実習施設の概要を知る。 ・園児と共に活動しながら観察し、乳幼児理解に努める。 ・保育所における保育の資料を収集し、記録をとる。 ・安全に対する配慮、環境整備、清掃の仕方を知る。 第9回～第15回 保育所で保育実習 (45時間) (2) 補助的な参加・部分実習を中心とした実習 ・指導職員の補助的役割で保育に参加し、一日の流れを理解する。 ・保育計画・指導計画を理解する。 ・保育を部分的に担当しながら保育技術を習得する。 ・さまざまな幼児とコミュニケーションをとり、一人ひとりの発達への理解を深める。 ・部分的な指導計画を作成し、それを実践して反省し、課題をつかむ。 ・園行事に参加し、行事のあり方について考える。 ・まとめを行い、今後の課題を見つける。					
時間外での学習	・様々な保育技術を現場で生かせるように制作物の準備、ピアノの練習等を進めておきましょう。 ・実習記録をその日の内に記録・整理し、翌日の計画をたてましょう。 ・部分実習の指導案も計画的に作成し、担当の職員の指導を仰ぎましょう。					
受講学生へのメッセージ	実習は体力がいります。日頃から健康に留意し、自己管理を怠りなく、十分体調を整えて意欲的に実習に取り組みましょう。 オフィスアワーは内藤 (H205) ・名和 (H211) で毎週木曜日の昼休みです。					

実習指導 I a		幼児教育学科		1年通年		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：内藤 敦子・名和 孝浩						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	保育士資格取得を目指す学生として、保育実習の意義や目的を理解し、保育実習に必要な基本的知識や態度を学び、課題を持って実習に取り組めるよう学びます。実習日誌、指導案の考え方や教材準備、保育実技など、実習が充実するよう実習に関連する科目での学びも取り入れて知識や技能を習得します。					
授業方法	講義と演習					
到達目標	1. [知識・理解] 保育実習の意義と目的を理解し、保育実習で必要とされる基本的な知識を身につける。(○) 2. [思考・判断・表現] 実習において達成すべき課題を明確にし、必要な準備をしたり、実習後に振り返ったりする。(○) 3. [技能] 保育所保育指針に基づいた指導の実際について学び、保育実習場面で利用できる実践力を養う。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 保育実習での望ましい態度を身につける。また、必要な書類の作成が出来る。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	レポート	10	20	-	-	30
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	-	30	-	30
	提出物・受講態度	-	-	-	30	30
	合計	20	20	30	30	100
成績評価と割合	レポート 30%、試験(筆記・実技) 40%、提出物・受講態度 30% の合計100%で評価します。					
テキスト	『保育所保育指針』フレーベル館(売店で購入してください) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館(売店で購入してください) 『幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド』わかば社(売店で購入してください)					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション ・実習とは何か ・保育実習までの準備と学び [準備・課題]保育実習園について調べる。(1h)					
2	実習園を決める ・保育実習の意義について学ぶ ・保育ボランティアに向けての準備 [準備・課題]保育実習園を決め、連絡をとり、内諾を受ける。(1~2h)					
3	保育ボランティアに行こう ・保育ボランティアの心得について学ぶ ・保育ボランティアでの視点について学ぶ ・個人情報の保護に関して学ぶ [準備・課題]保育ボランティアの依頼と事前オリエンテーションに出向く。(2~3h)					
4	保育実習に向けて自身のめあてを決めよう ・保育ボランティアを振り返り、自身の課題に気づき、目標を立て見通しを持つ ・保育所の機能と目的についてまとめる [準備・課題]保育ボランティアの振り返りをまとめる。(1~2h)					
5	保育所保育指針から学ぶ(1) ・認定子ども園との相違について知る ・「総則」「子どもの発達」「保育の内容」について学ぶ [準備・課題]保育所保育指針「総則」「子どもの発達」「保育の内容」を事前の読んでおく。(1~2h)					
6	保育所保育指針から学ぶ(2) ・「保育の計画及び評価」「健康及び安全」「保護者に対する支援」について学ぶ [準備・課題]保育所保育指針「保育の計画及び評価」「健康及び安全」「保護者に対する支援」を事前に読んでおく。(1~2h)					
7	保育の実際(1) ・部分実習の考え方について学ぶ ・指導案の立て方を学ぶ ・指導案を立てて、模擬授業をする [準備・課題]部分実習の指導案を考えておく。(1~2h)					
8	保育の実際(2) ・自己紹介について考え、必要な準備をする [準備・課題]必要な準備物を完成させる。(1~2h)					
9	実習日誌の書き方について学ぶ ・実習日誌の書き方を学ぶ。デイリープログラムを、日誌に書く [準備・課題]デイリープログラムを完成させる。(1h)					
10	実技の確かめ ・保育園をイメージして手遊びをする ・実習日誌の正しい書き方について確認をする [準備・課題]手遊びの内容を考え、練習をしておく。(1~2h)					
11	実習生としての心構え(1) ・園でのオリエンテーションを受ける時の視点を知る ・実習生としての実習態度、服装・身だしなみの確認をする。 [準備・課題]事前オリエンテーションを受けるために必要な準備をする。(1~2h)					
12	実習生としての心構え(2) ・実習のめあての確認 ・事務文書(身上書)の作成 [準備・課題]身上書を完成させる。(1~2h)					
13	実習生としての心構え(3) ・事務文書(訪問担当者への地図)の作成や取り扱いについて確認をする ・個人情報の保護について確認をする [準備・課題]実習日誌や必要な書類の整理をしておく。(1~2h)					
14	まとめ ・実習の目的と内容の確認 ・評価について ・事務連絡 [準備・課題]実習初日の持ち物の確認や自己紹介の練習をしておく。(2h)					
15	実習を終えて反省 ・実習を振り返り、めあての達成など自己評価をする ・実習園からのアドバイスなどを元に、今後の実習に向けて課題を明確に持つ [準備・課題]実習振り返り票の記入をする。(1h)					
時間外での学習	実習に向けて、他の科目での学修も生かしながら準備を進めていきましょう。時間外の学修については、その都度指示をしますから、確実に課題を進めていきましょう。					
受講学生へのメッセージ	実習には体力が必要です。日頃から体調管理に努めると共に、心身の健康について日頃から意識しましょう。オフィスアワーは内藤(H205)・名和(H211)で毎週木曜日の昼休みです。					

ボランティア実践		幼児教育学科		1～3年通年		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：松村 齋						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	インターンシップ、ボランティア活動の実践					
授業方法	大学での学びを保育現場で検証・深化させるインターンシップやサービラーニング、地域・社会のニーズに応えるボランティア活動への参加。					
到達目標	1. [知識・理解] 子どもの遊びや生活を支えるための、環境構成や援助の在り方について必要な知識を身につけることができる。(○) 2. [思考・判断・表現] 時代の変化や様々な価値観、地域の特性に対応できる柔軟性を身につける。(◎) 3. [技能] 保育実践や社会生活に必要なコミュニケーション能力を身につける。(○) 4. [関心・意欲・態度] 社会に貢献する使命感と責任感を持って、様々な課題に対応するため地域と連携し、積極的に行動することができる。(◎)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	発表・レポート	20	-	-	-	20
	自己評価	-	-	20	-	20
	受講態度	-	30	-	-	30
	提出物	-	-	-	30	30
	合計	20	30	20	30	100
成績評価と割合	発表・レポート 20%、自己評価 20%、受講態度 30%、提出物 30% の合計100%で評価します。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	学会などの催し、研究会などは案内します。また、日頃から印刷物（新聞、関連誌）を身近な教材にしてください。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
	※3年間に於いて、下記のいずれかの社会活動に15回相当以上参加し、そのレポートを提出することで単位を認定します。 <社会活動の内容> 1. 県や市町村等の主催するボランティア活動への参加 2. 各種団体主催のボランティア活動への参加 3. 地域で行われる行事や活動への参加 4. 保育施設、幼稚園等での指導や補助 5. 自主的な清掃活動 6. その他のボランティア活動等 <報告書の提出> 活動後、所定の用紙にて2週間以内にレポートをチューターに提出する。さらに、3年間のインターンシップ・ボランティア活動報告書をポートフォリオに綴り、定期的にチューターに提出することが必須。					
時間外での学習	本科目はすべて授業外の時間設定となります。					
受講学生へのメッセージ	地域には、若い力を求めるたくさんのニーズがあります。大学で学んだ専門的知識や技能を、社会現場で活用し、社会的ニーズに積極的に応える人間へと自らを高めていきましょう。オフィスアワーは各教員の時間帯を参照。質問・相談はチューターに随時行ってください。					

ウインドアンサンブル (1年次 前期)		幼児教育学科		1年前期		
		2単位		演習	60時間	
[教員]: 服部 篤典・鈴木 孝育・野々垣 行恵						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、各所において、それぞれの役割を理解し、演奏力の向上を目指します。また、授業以外に、各楽器の個人レッスンがあります。なお、演奏依頼があった場合、その練習になることがあります。					
授業方法	吹奏楽の合奏、各楽器のレッスン、場合によってパート別レッスン、セクションごとのレッスンが行われる。					
到達目標	1. [知識・理解] 吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を理解し、クラシック、ジャズ、ポピュラー等ジャンルの様式を理解する。(△) 2. [思考・判断・表現] 吹奏楽で演奏されるジャンルの基本的な知識があり、楽曲に合った演奏表現ができる。(○) 3. [技能] 楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の要求に合った演奏ができる。長短すべてのスケール演奏が安定すること。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を積極的に学生同士で練習方法等を研究し円滑に練習を進めることができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	50	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	10	-	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験(期末) 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長率(技術の成長度) 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	楽譜等その都度配布。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、スケジュール確認 [準備・課題]基礎の確認 (3h~6h)					
2	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲配布・音だし [準備・課題]楽曲1の研究及び練習 (3h~6h)					
3	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲合奏 [準備・課題]楽曲1の研究及び練習 (3h~6h)					
4	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲仕上げ [準備・課題]楽曲1の復習 (3h~6h)					
5	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1 配布・音だし [準備・課題]楽曲2の研究及び練習 (3h~6h)					
6	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1 合奏 [準備・課題]楽曲2の研究及び練習 (3h~6h)					
7	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1 仕上げ [準備・課題]楽曲2の復習 (3h~6h)					
8	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2 配布・音だし [準備・課題]楽曲3の研究及び練習 (3h~6h)					
9	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2 合奏 [準備・課題]楽曲3の研究及び練習 (3h~6h)					
10	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2 仕上げ [準備・課題]楽曲3の復習 (3h~6h)					
11	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3 配布・音だし [準備・課題]楽曲4の研究及び練習 (3h~6h)					
12	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3 合奏 [準備・課題]楽曲4の研究及び練習 (3h~6h)					
13	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3 仕上げ [準備・課題]楽曲4の研究及び練習 (3h~6h)					
14	試験課題曲配布・合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習 (3h~6h)					
15	試験課題曲合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習 (3h~6h)					
時間外での学習	授業以外に各楽器のレッスンがあります。必要に応じてパート練習、セクション練習を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	まずは、個々が譜面に正確な演奏を心掛けてください。その上で他パートの動きなどを理解し、合奏力の向上を目指してください。一人でも欠けるとアンサンブルが成立しません。無断欠席・遅刻厳禁。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

ウインドアンサンブル (1年次 後期)		幼児教育学科		1年後期		
		2単位		演習	60時間	
[教員]: 服部 篤典・鈴木 孝育・野々垣 行恵						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、各所において、それぞれの役割を理解し、演奏力の向上を目指します。また、授業以外に、各楽器の個人レッスンがあります。なお、演奏依頼があった場合、その練習になることがあります。					
授業方法	吹奏楽の合奏、各楽器のレッスン、場合によってパート別レッスン、セクションごとのレッスンが行われる。					
到達目標	1. [知識・理解] 吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を理解し、クラシック、ジャズ、ポピュラー等ジャンルの様式を理解する。(△) 2. [思考・判断・表現] 吹奏楽で演奏されるジャンルの基本的な知識があり、楽曲に合った演奏表現ができる。(○) 3. [技能] 楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の要求に合った演奏ができる。長短すべてのスケール演奏が安定すること。(◎) 4. [関心・意欲・態度] 個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を積極的に学生同士で練習方法等を研究し円滑に練習を進めることができる。(○)					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	50	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	10	-	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験(期末) 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長率(技術の成長度) 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	楽譜等その都度配布。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、スケジュール確認 [準備・課題]基礎の確認 (3h~6h)					
2	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲配布・音だし [準備・課題]楽曲1の研究及び練習 (3h~6h)					
3	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲合奏 [準備・課題]楽曲1の研究及び練習 (3h~6h)					
4	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲仕上げ [準備・課題]楽曲1の復習 (3h~6h)					
5	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1 配布・音だし [準備・課題]楽曲2の研究及び練習 (3h~6h)					
6	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1 合奏 [準備・課題]楽曲2の研究及び練習 (3h~6h)					
7	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1 仕上げ [準備・課題]楽曲2の復習 (3h~6h)					
8	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2 配布・音だし [準備・課題]楽曲3の研究及び練習 (3h~6h)					
9	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2 合奏 [準備・課題]楽曲3の研究及び練習 (3h~6h)					
10	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2 仕上げ [準備・課題]楽曲3の復習 (3h~6h)					
11	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3 配布・音だし [準備・課題]楽曲4の研究及び練習 (3h~6h)					
12	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3 合奏 [準備・課題]楽曲4の研究及び練習 (3h~6h)					
13	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3 仕上げ [準備・課題]楽曲4の研究及び練習 (3h~6h)					
14	試験課題曲配布・合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習 (3h~6h)					
15	試験課題曲合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習 (3h~6h)					
時間外での学習	授業以外に各楽器のレッスンがあります。必要に応じてパート練習、セクション練習を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	まずは、個々が譜面に正確な演奏を心掛けてください。その上で他パートの動きなどを理解し、合奏力の向上を目指してください。一人でも欠けるとアンサンブルが成立しません。無断欠席・遅刻厳禁。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					